

▲小又温泉 は北秋田郡前田村森吉砂子澤字小又澤湯の澤の地にあり山間幽谷中の巖岨より湧出し東北西の三面は瀧ヶ森の山脉を以て圍繞せられ南方小又川を隔てて遙かに森吉岳と相對し山水明媚風趣最も幽微である砂子澤は慶長年間舊藩主遷封の後國境守護の爲め創立せし居村で享保二年守護人宮野某なるもの温泉を發見し同年藩主に請うて浴場を設立したが後前同村の富豪庄司家は病者の爲め浴舎を修理し今日に及んだもので泉質は硫黄泉で温度九十五度である

▲湯の岱冷泉 は北秋田郡澤口村小森字湯の岱の地にあり源泉は河畔の山麓岩石の間より湧出し丑の日日歸り湯治と稱する浴客多く米内澤まで十八町に過ぎない泉質は岩酸泉で享保年中の發見である、鹿角郡毛馬内町の高橋恒太郎君は此の天然炭酸泉を利用して秋田水及びバイダーを製造しつつあつて將來有望なりとせられたが秋田縣で資本を供給するものなく東京の資本家に全權利を譲渡したと傳へられて居る

▲平戸内小澤冷泉 は山瀬村岩瀬平戸小澤の地にあり源泉は深谷の間に湧出し四周山にて平戸内川浴場を環流して居る大飯町まで三里早口村まで一里十八町嘉永元年の發見で泉質は鹽類泉である

▲大湯澤温泉 は矢立村長走大湯澤村にあり國道を距る僅に九町陣場驛より二十

町に滿たない海面を抜く七百尺西北の三方は蒼鬱たる杉の森林を以て圍繞せられ一面を開らきて山秀で水明らかなる避暑の絶好地である本泉は岩代盤梯山破裂の當時此の地大に鳴動し突然温泉の湧出を見るに至つたもので明治二十五年北秋の名物男日景辨吉翁自ら荊榛を薙りて浴場を設立し今日に及んだもので甲の泉質は鹽性硫黄泉で乙の泉質は酸性を帯び内服外浴共に有効である

▲安立温泉 は矢立村長走赤湯澤にあり大湯澤を距る僅に十町位である國道に沿ひて交通至便の地にある陣場驛に一里十町と云へど國道だから車は自由だ明治二十五年の創立であるが往昔山鹽を製造したこともあつたと傳へられて居る泉質は鑛鐵泉中鹽性合酸鐵泉で外浴内服共に有効である。

### ▲山本郡

▲湯の澤温泉 は藤琴村字湯の澤と云ひて藤琴川の上流にありて源泉は溪谷中より湧出し地勢東北南の三面は山岸に圍繞せられ西方は小流れあり瀑布あり直下五六十尺夏時清涼の氣溢るる絶好の避暑地である本村より浴場までは藤琴川の舟便を利用して居る泉質は鹽類泉で温度九十八度今より一百餘年前の發見にかかると傳へられ

て居る。

▲湯の前冷泉 は常盤村字大柄の山澤中に湧出する西北は山を負ひ東方に小川を帯び浴場は今より五六十年前に設立したもので泉質は硫黄泉である。

▲河邊郡

▲柳の湯冷泉 は新屋町字木揚場御物川の古川端にある風趣晴やかで海水浴の繁昌せぬ以前はなか／＼有名だったが今は其の半ばの繁昌もせぬ浴場の創設は明治九年五月で泉質は鹽類泉である。

▲湯の目澤冷泉 は川添村黒瀬字湯の目山麓の地にあり永正年間の発見にかかり慶應元年七月浴場を再興して今日に及んだもので泉質は炭酸泉である。

▲千齡泉冷泉 は下北手大字櫻の字澤の地にあり浴場は櫻谷地と稱する處に設けられ源泉を小舟に汲み小流れを以て運搬して來る寶曆年間の発見で明治七年再興したものである泉質は硫黄泉秋田市より僅に一里に過ぎない。

▲姨ヶ澤冷泉 は下北手寶川字姨ヶ澤にありて明治十九年道路開鑿の際之れを発見し二十六年八月浴場を設立したもので鹽類泉である秋田市より一里二十餘丁である

▲仙北郡

▲黒湯温泉 (龜の湯とも稱す)は生保内村黒湯澤の地にある駒形嶺の北陰である海面より高きこと凡そ二千四百三十九尺源泉二ヶ所あつて一は冷の湯と稱し一は熱の湯と稱して居る生保内本村を去る四里浴場の開設は享保年間で現時は田代宏成氏の經營する浴場が新設されて居る泉質は硫黄泉で熱の湯百六十八度の溫度を有する冷の湯は百七十四度である。

▲鶴の湯温泉 は田澤村字先達の内湯の澤にあり田澤の本村から二里三十三丁先達川の上流にあり源泉の湧出する處四あり第一は白湯(冷の湯)は銚長根の山脚に湧出す第二は小瀧も銚長根の山腰に生じ算を白湯浴場の屋上に架し懸泉として居る第三は大瀧も同山腹に發す別に浴場を設け其上に算を架し浴者の体に注射させて居る第四は黒湯(熱の湯)は白湯を距る六間ばかりで泉底黒砂で浴場創設年月詳かならざるも元和の初年ならんと傳へらる萬治二年舊藩主佐竹義隆公入浴せしより人馬繼立の制札を掲示したさうである、硫黄泉で溫度百四十五度を有する

▲蟹の湯温泉は田澤村字蟹場にある、此地は女乙石山の麓で海拔二千七百尺の地に

あり本村を距る三里半三面山を帯び南西の間僅に開らけて居る天保十三年八月一日で浴場新設は弘化三年にかかり此地蟹多く棲息するので此の名ある所以で泉質は鹽類泉で温度百二十九度を有して居る。

▲鳩の湯温泉 は田澤村玉川の地にあり本村を距る東に五里西に玉川の流を帯び岸を隔てて湯の森を擁し東は丘陵にて其上に醫王祠を安置す東南に美女嶽あり女神男神の山嶽を望み是れより北二里の地に硫黄山あり硫酸沸湯を發するので土俗毒湯と稱し又溢黒とも云ふ玉川毒水の源泉は此の溢黒である享保は中の發見で温度百二十五度泉質は硫黄泉である

▲蟹場新温泉 は田澤村蟹場湯の西方に湧出し東北山を負ひ西南は開豁である山秀で水清き地で風趣幽雅である生保内村まで三里明治二十三年五月の發見で鹽類泉である

▲小平上段冷泉 は峰吉川字小平小段の地にあり國道より僅に七八町の溪にある天明年間浴場を創設したが中途廢絶して明治十三年更に之を開設した泉質は鹽類泉である

▲湯元温泉 (蛇の湯)は外小友村子湯元の地にあり海拔五十七尺山嶽群峙し溪水貫

流して清涼掬すべきを覺ゆる神宮寺驛より各二里發見は三百年以前なるべく泉質は鹽類泉で温度百十度を有する

▲湯神臺冷泉 は外小友村神臺にある明治四年浴場を創設したものである

▲瀧の澤冷泉 は淀川村中淀川字瀧の澤の地にある上淀川まで一里五町泉質は硫黄泉で寛政九年七月の發見で浴場も創設せられた

▲湯の森冷泉 は金澤村中野字湯の森の地にあり地勢金澤古城に相對し鳥海山の美容を仰ぐをうべく風光清幽を以て稱せられ六郷町より一里二十丁横手町より一里餘泉質は單純泉である

▲夏瀨冷泉 は白岩村字夏瀨の地にあり本村を距る二里玉川沿岸の巖崖に湧出し明治二十六年七月浴場を開設したもので泉質は單純泉である

### ▲平鹿郡

▲鳶ヶ澤冷泉 は山内村土淵字鳶ヶ澤にある道路平坦横手町を去る東南一里二十一町餘寶曆年間の發見にかかり中絶したのを明治四年四月再興した

### ▲雄勝郡

▲泥湯温泉 (安樂泉) 須川村高松字泥湯にあり海拔二千零八十三尺湯澤町を距ること七里泥湯嶽は東南に聳わ大山伏嶽は其西南を繞り四ヶ處に湧出して其質を異にし第一を元湯第二を中の湯第三を川向の湯と稱し第四を目洗湯と稱する泉質は硫黄泉である

▲川原毛温泉 は須川村高松字川原毛にあり泥の湯を距る二十町小山伏嶽は其の南に川原毛嶽は西南に硫黄山は東南に峙つ四圍山巒連接して景致幽靜禽語虫聲皆人の心目を娛よしめ源泉は川原毛嶽の麓に湧出す此處より一町餘にして大瀧と稱するあり高さ五十尺幅三十尺の湯瀑布で全國無比の壯觀である泉質は鹽類泉である

▲橡湯温泉 は皆瀬村川向字棚ヶ臺にあり湯澤町より七里明和年中の發見にかる  
▲小安温泉 は皆瀬村小安にあり、其傍らに新湯と稱するあれど低温にて冬季浴に適しない、元湯、蒸湯と稱するはいづれも入浴者の便宜に供せしものである、土地幽邃閑寂にて源泉を東北に距る二町の處に不動瀧と稱する雄大なる瀑布の奇觀があり風光清雅である浴場の創設は應長年間寛文六年舊藩主佐竹義處公の弟玄蕃入浴せしより其名現はるに至つた

▲大湯温泉は皆瀬村大湯澤にありて須川嶽の麓である皆瀬川は浴字の背後を擁して

流れ崖壁奇巖を露出し泉聲潺緩として琴聲を聴くがやうである附近陣場臺と云ふ處は前九年の役源義家の屯したと傳へられて居る山水幽雅の地を以て稱せられ湯澤町より七里文化年中の發見で弱鹽類泉である

此他に不老温泉と稱する温泉は最近の開設である

▲湯の岱温泉 は秋の宮村役内字湯の岱にあり泉源三ヶ處あり甲は役内川の岸下より湧出す乙は部落の北で丙は乙の少しく南方に發する横堀驛より四里元祿十年今より十八年の間に發見したもので單純泉である太郎兵衛の湯は温度百四十五度彦左衛門の湯は百十四度太郎右衛門の湯は温度百四十一度である

▲荒湯の澤温泉は秋の宮村赤石澤の内荒湯澤にあり明治十五年八月の發見で單純泉である新湯と稱して居る此他に湯の又旭嶽の湯等ある

▲稻住温泉 は秋の宮六湯の一を横堀町の押切永吉氏が利用して時代的の設備をしたもので浴室には五條の湯瀑を高く懸け浴槽清徹にして神氣おのかつら快爽を覺らしむ庭園を修理して自然山水の奇勝と相照應し展望頗る清佳である東十町にして新湯温泉の溪谷の益々幽なるあり又十町にして湯の岱温泉の小部落に到り役内川の清流に涼を納るるを得べく東南又三十丁にして旭嶽、湯の又等の勝景を掬するを得る

▲湯の澤温泉 は院内町下院内字湯の澤にあり院内驛を去る僅に二町輕便レールを敷設して浴客をトロにて往復せしめて居るが最早馬車を運轉するやうになりつつある、院内の快男子鎌田武治氏の獨力經營にかかり客室の堂々たる宛ながら阿房宮を見るやうである電話も架設せられ瀧あり山あり景趣清幽にて絶好の避暑地である、泉質は單純泉であるがラヂウムの含有も少なからずと稱され温度は百六度である、▲湯の原温泉 は湯澤町にあり御嶽の麓にあり景勝の地である御嶽神社の御手洗湯であつたと古くから傳へられ泉質は鹽類泉である

▲由利郡

▲養命冷泉は松ヶ崎村親川にある浴場の創設は元祿十五年三月で泉質は鹽類泉である  
▲岩倉の冷泉 は南内越村岩倉にある岩倉山の西北麓に湧出する源泉は深數丈にして其の底を測るべからずとせられて居る本莊町より一里天明年間の發見にかかり浴場の創設は享和二年である泉質は鹽類泉である  
▲彌六内冷泉 は上川大内村瀧字彌六内川山下にある櫻長根と稱する深溪より源泉

を發する此の地郡境保呂羽山の麓である浴場は文化九年の開設で泉質は鹽類泉である

▲石澤の冷泉 は石澤村柳生字湯の澤の深溪中に湧出す本村を距る十五町文化七年浴場を創設した

▲湯の澤冷泉 は直根村猿倉字湯の澤にあり此地は鳥海山の北麓なる山野の間にあるり人家數戸ある源泉は其の中央に湧出する浴場の創設は享保二年である

▲檜木臺冷泉 は川内村小川字檜木臺にある南大森山を仰ぎ西檜山に對し東笹子川を帶び源泉は檜山の麓に發する浴場を創設したは文化の末年である

▲櫻の温泉 は金浦町字鹽焚濱にある源泉は海濱の沙磧上より湧出する文化年中の發見にかかり泉質は鹽類泉である

▲小米澤温泉 は西目村字小米澤にある端場山の北麓に源泉湧出し寶曆年間の發見である

▲大棚温泉 は小出村伊勢地字大棚と云ひて鳥海山の山脈冬師山の溪間にあり慶應元年八月浴場を開設した

此他に本莊町陣場岱に志村鑛泉あり冷温二種で風光清雅なるを稱されて居る

▲砂子澤温泉 是小坂字砂子澤にあり毛馬内町より一里十五町天明以前の發見にかかり泉質は鹽類泉である

▲大湯温泉 は大湯村にあり村中いづれの地よりも湧出す、上の湯、下の湯、河原の湯、荒瀬の湯等あり風光明媚の地である而して天下の絶勝十和田湖觀光街道中にあるが故に現在は勿論將來ますます有望なりと稱せられ客舎湯槽の完全せるは上の湯の千葉旅館下の湯のかめや旅館であらう發見は今より四百年以前である泉質は硫黄泉で温度は百六十三度より百六十五度に及ぶ

▲蒸の湯温泉 是宮川村長谷川字熊澤にあり八幡平と稱する山の麓の全谷悉く温泉を湧出する其中に黒湯なる一泉あり之を蒸の湯と稱する地勢四圍皆山で山腹數條の熱湯を噴出し其聲人語を濫すに至る浴客の多きは黒湯である地上温氣を蒸騰する處あり病者は庭を其上に布き假臥して患部を薰蒸するから俗に之れをフカシ湯と云ふ花輪町を距る二里發見は寶永元年で正徳二年浴場を建設した泉質は鹽類泉に屬する

▲赤川温泉 是宮川村長谷川字角石と稱する深谷中にあり熊澤川東南を流れ其の西泉に高さ五十尺餘の硅石ある之れより數歩を隔てて温泉二ヶ所に湧出する入浴を始

めて試みたるは享和元年の春で泉質は硫黄泉である

▲錢川温泉 是宮川村長谷川字錢川の山麓中に湧出する錢川は南方より來り下流熊瀬川に入る其傍らに直下五十尺の瀑布がある浴泉を試みしは享和の初めだと傳へられて居る

▲湯瀬の温泉 是宮川村長谷川にあり地は米代川の北岸にて海拔六百八十三尺源泉は四ヶ處に湧出する花輪町より二里二十二町沿道の風光雅麗極まりなく秋田の鹽原を以て稱せられて居る浴場は三百六十七年湯瀬村の創立と共に開設せられ泉質は硫黄泉である上の湯は温度百五十度中の湯、下の湯、河原の湯いづれも同じである、盛岡街道に在るから有望なる未來を有して居る温泉の一である

### 海水浴の適地

本縣の海岸には海水浴場の適地少なからざれども鐵道完成せざるを以て所在不便の聲に其繁榮を妨げられつつあるを遺憾とせざるべからず然れども羽越鐵道にして一度完通するに至らば由利郡の海岸はいづれの地に至るも海水浴場として適當ならざ

る無きを信ず現在に於ける重なる其二三を左に掲ぐべきか、

▲新屋濱 秋田市附近に於ける海水浴場としては先以て新屋濱に指を屈せざるべからず市外僅に一里半散策の道程として左程遠きを覺えず新街道成りて以來自動車人車春より秋にかけて遊杖を曳くの士女ひきもさらず平均一日三百名以上を算しつあり旅館の設備完全し頗る時代的の進歩を見るに至れり新屋町繁榮の一要素たり、▲脇本海水浴 追分驛より船川線に乗替へ脇本驛にて下車して八郎湖口の砂濱に至る其處は即ち脇本の海なり未だ何等の設備あらずと雖も其の繁榮は之れからの問題なり此處には釣り若しくは蛸をあさるなどの興あり秋田市よりは鐵道にて日歸りするを得る至便の位置にあり新屋濱の海水浴は時代的に進歩して其の興や俗なり脇本は其俗未だし清遊を縦にするを得べき好適地なるべし、

■平澤と象潟 由利郡平澤及び象潟は新屋濱が未だ荒涼たる砂濱たりし時代に於ていつ早くも海水浴の設備を爲して世人の海水浴を語るもの先づ此の兩地を推稱しつありしも未だ鐵道の敷設なかりしが故に新屋濱の如き繁榮を見るを得ざりしも地は風韻饒かにして歴史上の感興を惹くこと限りなきを以て今將さに起工せられんとしつある羽越線の完通と共に本縣第一の海水浴場として喧稱せらるるや必せり、

■其他の適地 羽越鐵道完通の曉は由利海岸は到る處海水浴の適地たらざるはなし之れを秋田市よりすれば「内道川」の如きは地平遠白砂青灣を擁して「鶴潟」の明媚「烏沼」の閑寂古刹正眼寺あり更に田村將軍の創建せる「瀧の宮」の古趾あり養老年間の勸請にかかる「御嶽山」あり「勝手明神」あり風趣頗る詩興を惹いて清遊の適地たり而して「本莊濱」も其設備に時代的の注意を拂はば新屋濱と相對の稱を縦にするを得べし殊に横莊鐵道の成るの曉は縣南よりする士女の來り遊ぶもの頗る多かるべし、北にありては能代以北「岩館」の風光を舞臺とせる海水浴場を設備し縣北よりする清遊の士女を待つべくんば地の繁榮を期する決して難からざるなり。

### 著名の神社佛閣

■本縣に於ける神社は明治四十年八月神社會併標準に關する縣訓令發布當時は神社總數四千六百九十八社なりしが爾來合併整理せるもの三千三百二十二社を算し現在に於ける神饌幣帛料供進指定神社は縣社十四郷社三十一村社七十二計百十八社にて寺院は六百七十八にて天臺三眞言四四淨土五臨濟一七曹洞三四四眞宗百

七十一日蓮四一時宗四にて神佛道以外の教會講義所十四あり即ち天主教一ハッ  
ストス正教五日本基督教會一日本聖公會二美以教會二其他三を有す、

▲古四王神社 南秋田郡寺内村にあり國幣小社なり崇神天皇の御宇大彥の命越の國  
を巡撫せし時武甕槌神を祭り齊明天皇の時阿部比羅夫來りて蝦夷を征し其祖大彥命  
を合祀す古の越王又高泉の明神高清水の宮とも稱せり桓武天皇の時田村將軍武淳河  
命、吉備津彥命、丹波道主命を合祀し爾後興廢常なく且つ中頃四天王寺中に四王堂  
として別祀せられ又四天王寺等の跡を承けし東門院に西部として合祀せられ古四王  
大權現と稱せしが明治初年より獨立せり地は爽塏四望開豁老樹古木蒼鬱たり境内に  
「田村神社」ありて將軍の像及び矢の根を祭れり。

▲八幡秋田神社 千秋園上に在りて縣社なり八幡神社に明治十一年佐竹藩祖を祀り  
し秋田神社を更に明治四十一年に合祀せり神体は佐竹義仁が鶴岡八幡の神影を寫せ  
しものと佐竹義宣大阪役着用の鎧となり「與次郎稻荷神社」は其の隣地に在り、

▲太平山神社 太平山に在りて縣社なり元と三本が嶽と稱し又おろち山とも云ひし  
が佐竹義宣が之れを太平山と改めたり秋田市より山麓迄三里餘にて前岳、中岳、奥嶽  
に分る天武天皇の白鳳二年役の小角の草創にて延暦年中田村將軍之れを中興し大名

持命少名彥命を合祀す前岳及び奥嶽には瀑布に一泊し砂石淵に下り巖谷山、筑紫森  
の奇勝を探り岩見より歸るを順路とす、

▲總社神社(三森山神社) 秋田市外川尻村に在り元と三森神社聖武天皇の神龜元年  
川尻郷三森山に鎮座す、祭神は兩皇太神宮外四柱及び山城大和の二十社を奉祀せり  
慶長八年佐竹義宣築城に際し檜山下濱に遷し更に寶永四年中現在の地に轉じたり往  
古は流鏑神事水神事等ありしと松杉天を蔽ひ幽邃閑寂極まりなく社前の長堤老櫻數  
百株春の趣一段の眺めあり古へより櫻の名勝地たり、

▲招魂社 千秋園上に在り戊辰戦死者の忠魂を祭らんが爲め寺内五輪山に建立せし  
も千秋公園開始と共に遷座せられ十年役二十七八年役三十七八年役北清事件戦死者  
等を合祀せり地は櫻花の春鮮やかに彩らるる千秋園に祭祀行はるる日は花さなが  
ら雲の如くに清香芳芬として英魂も尙ほほむべく覺わらる。

▲彌高神社 平田篤胤佐藤信淵の二大人を合祀せるものにて本縣教育會主として社  
殿を造營し今や其基本財産の増殖を圖りて縣社に列せしめんとしつつあり西根小屋  
町に建設せられしが更に千秋公園舊馬場趾堤上に移遷せり。

▲日吉八幡神社 縣社にて市外八橋公園内に在り元享三年新城村笹岡に在り秋田家



の勸請せし神社たりしが慶長七年今の地に遷し秋田市外町の鎮守とせり祭神は大山  
 咋命譽田別命にて社宇八間四方本社間口七間奥行七間青銅葺にて内陣の彫刻精巧を  
 極め秋田の日光廟とも稱すべく近縣稀れに見る建築にて長床舞殿等を有す「三重塔」  
 は二間四面にて二丈餘の青銅大華表あり什物の重なるものは六歌仙彫刻額仁和賀圖  
 額(狩野秀水)本居翁木像(神主鎌田越前作)境内廣潤にて老樹長幹空を蔽ひ陰森清肅  
 の氣に充つ祭典は三月及び八月に行はる。

▲神明社 土崎港に在りて縣社なり地は秋田家時代の湊城趾にて川口總次郎が慶長  
 年間水戸より遷せし氏神なりしが土崎の發展するに従ひ鎮守とせしものにて祭神は  
 天照皇大神なり、

▲東湖八坂神社 南秋田郡天王村に在りて縣社なり祭神は素盞鳴尊にて延暦二十年  
 田村將軍出雲大神を勸請し中頃杉の宮に遷して杉の宮神社とも稱せり八頭の大蛇を  
 平らげ給ふ神事あり天國短刀、二條宗近劍、紫音笛等は其の寶物なり地は八郎湖畔  
 にて詩趣史興溢るるが如し、

▲眞山神社 南秋田郡北浦町に在り祭神は天津火彦瓊々尊外一柱にて景行天皇の十  
 一年辛巳年三月の草創なり神殿、拜殿、神樂殿、山門、鐘樓等存在し明治維新前迄は本

山と同じく赤神を祭り境内に慈覺大師の手植と傳へらるる千有餘年を経たる樞の  
 大樹ありて枝葉四方に繁茂し東西十三間南北十間餘の地を蔽ひ幹の廻り一丈一尺高  
 さ三丈其狀宛ながら車蓋の如し、

▲七座神社 北秋田郡小繋村七座に在る縣社にて崇神天皇十年癸巳の草創にて祭神  
 は國之底主神外十一柱なり「日本書記」の肉人籠の神とは是れなり境内に有栖川宮殿  
 下御揮毫の篆額七座山神社碑あり社前は阿仁川と米代川と合流する處にて碧潭を湛  
 へ水中の巨巖相對して俗に夫婦巖の名あり對岸は七個の奇峯突兀として天を衝き太  
 古ながらの老樹蒼鬱として霄天に冲し雲霧常に霽れず森嚴陰肅の氣を凝らすの靈域  
 なり七座とは正面座(權現座)箕座、柴座、三本杉座、松座、大座なり舊藩主は言ふに及  
 ばず幕府も幣帛を捧げ織田信雄の出羽に流されし時隨臣濱田與右衛門此の神に祈り  
 て都に歸るを得たりと傳へらる。

▲日吉神社 河邊郡新屋町に在る縣社なり祭神は大山咋神外一柱にて大同元年の草  
 創なり江州日吉神社神体の餘材にて坂本の別社と稱し千歳の遺物なり大同元年勝平  
 山に鎮座せりしを永治年中今の地に遷し由利維平、赤尾津光善、最上義明等之れを崇  
 敬し元和八年佐竹家の領となれり神事の奇習として祭禮の時神履を逆に置きおのつ

から前に向ふ時神輿を昇ぎ出す世に之れを新屋の「山王沓任」せと稱す、

▲八幡神社 仙北郡神宮寺町に在る縣社にて祭神は保牟多和氣命なり大同元年藤原不比等の奏聞によりて開創し大同二年坂上田村麿建久元年源賴朝等數次復興する所あり慶長七年佐竹遷封の後累代崇敬せられ明治に至りて縣社となれり什物には「額輝七僧十二天」の畫二幅義家寄附の八幡大菩薩の白旗一旒賴朝寄附の畫像八幅其他を藏す

▲波宇志別神社 平鹿郡八澤木村保呂羽山に在る縣社にて祭神は安閑帝なり延喜式内出羽九社の一にて天平寶治元年夜刃鬼の城主大友吉親の開基にかかり往古城主小野寺遠江守深く崇敬して社領五百石を寄附せられ佐竹遷封後百五十石に減せられしも三國社の隨一として社殿の造營祭典費等を負擔せられたり。

▲八幡神社 平鹿郡淺舞町に在る縣社にて祭神は譽田別命なり天正十二年の建立にて元龜中小野寺義道の守護神たり堂後の蒼杉と社前の櫻樹と相掩映して景趣頗る雅麗なるに清泉空湧して池沼をなし紫藤長く垂れて鯉魚跳る、

▲愛宕神社 雄勝郡湯澤町に在る縣社なり祭神は火彥靈大神にて延曆二十年の草創なり、田村將軍惡路王を誅せし時同神の加護を祈り奏功の後報賽の爲め金像を安置

し小祠を建つ屢々火災に罹り大同二年住民復建敬祀せり後三年の役源義光太刀を報賽し保延元年藤原清衡厨子を奉納し後兵燹の爲め金像紛失せしが元祿二年水田中より發見し慶應二年白川家より正一位を賜り親筆の神號を受け後火災に罹りしも建立舊に復せり

▲八幡神社 由利郡本莊町に在る縣社にて祭神は譽田別之命外二柱なり文安五年八月の建立にて代々六郷家の崇敬厚かりし神社なり

▲特別保護建造物 仙北郡大曲町高畑村古四王神社社殿は崇神帝の御代の創立にて明治四十一年四月二十三日内務省告示第四十三號を以て古社寺保存法第四條に依り特別保護建造物とせらる構造形式は一間社、屋根入母屋造、妻入向拜、唐破風造、柿葺なり

▲此他に記載すべき古社の類少なからざれともそは古趾舊蹟の部に其重なるものを紹介すべし

▲蚶滿寺 由利郡象潟町に在り皇后山蚶滿寺と號す寺號は古へ干滿珠寺と書せり神功皇后三韓より凱旋の際干滿兩珠玉を携帶し玉ひきと云へる故事に因る山號も亦此事に因つて皇后山と稱せり後ち畏れ多くも蚶滿の額面を拜戴せしより蚶滿と改めた

り曹洞宗にて釋迦如來を本尊とす寺傳に曰く此寺は延暦年中慈覺大師の創立するところにて天臺宗なり其後干珠滿珠の名に擬して干滿珠寺と號す正嘉中北條時頼來り遊び寺塔を修め田園を寄附したり物換り星移りて久しく荒廢したりしを文祿年中再興して今の宗となり文化九年閑院宮の祈願所なりしと云ふ寺境六千九百三十四坪佛堂開山堂、庫堂、鐘樓堂、經藏、神功皇后殿、閻魔堂、辨天殿、地藏堂、大慈庵、納堂、骨堂、稻荷堂、無上門、二王門等あり寺境に老櫻あり俗に西行の歌櫻と云ふ歌に「象潟の櫻は浪に埋もれて花の上漕ぐ海士の釣舟」とあり其他に親鸞上人腰掛石、蟬丸姿見井戸、北條時頼手植の躑躅、神功皇后袖掛松、開山傳法の松、芭蕉俳句の碑等あり句に「象潟の雨や西施が合歡の花」と、

▲補陀寺 南秋田郡旭川字松原に在り正平年間秋田城之助守季が月泉和尚に請ひて創建せるところなり本寺の二世無等良雄和尚は南朝の忠臣藤原藤房卿の後身にして終に此地に於て入寂せりと傳ふ什物には後醍醐天皇御繪旨、藤房卿の筆碧巖録、同所持笈、光琳畫、淀君筆和歌其他あり又山門の古鐘は安東家の寄附せるところなり本寺の北邱を上る數丁にして藤房卿の墳墓あり、

▲天徳寺 南秋田郡旭川村字泉にあり萬固山と號す曹洞宗にて藩主佐竹氏累代の廟

所なり、寛正年間佐竹義人の開基に係る其未亡人の追福を修するが爲めに建立せらものなりと云ふ開山獨童和尚なり維新後規模縮少せるも本堂、山門、廟所等尙舊觀を存せり光明皇后眞筆、弘法大師作天女像、兆殿司筆十六羅漢、佐竹義宣陣羽織其他什物多し毎年宇蘭盆十六日虫干をなし衆庶に觀覽せしむ、

▲全良寺 秋田市外寺内村字八橋に在り藩士澁江内膳政光が大坂の役に戦死せし遺骨と及び其從臣とを埋葬したる墳墓あり韓祖嶺和尚を開基とす大智山と號し妙心寺派に屬せり境内に戊辰戦死官修墳墓あり市外櫻の一名所として知らる、

▲大悲寺 秋田市寺町に在り普門山と號し臨濟宗なり後宇多帝の御宇將軍惟康親王東夷征伐の砌り寺内村に建立し其後弘安年中東院和尚開山たり

▲秋田市内の寺院 其他市内の寺院には「麟勝院」あり樹山額田の開山にて「當福寺」は安榮山と號し文貞上人再興す境内に秋田御前の古墳あり「聲体寺」は時宗にて開山は遊行寺三十二世阿普光上人の甥阿義なり「淨願寺」は開山は蓮如上人の得度を受けし弘賢和尚なり越前吉崎より移れり「西善寺」は天文年中見山教宗開基にて辻與次郎鑄造の梵鐘秋田城介より與へられたる雲照作短刀狩野永樂の親鸞上人の繪傳四軸あり境内に歌人蓮阿の墓お延の墓等あり「光明寺」は二七山釋迦堂瞿曇と號し北條時頼

愛妾唐絲を失ひし二七日に建立せし由傳へられ什物に辨財天女僧唐織の袈裟等あり「久城寺」は日蓮宗にて永正中日有上人の開基なり「西勝寺」は眞宗にて天文年中淨圓の開基たり什物には善光如來分身僧後水尾天皇の御製御奈良天皇の御書贊光格天皇御製古鏡古劍等あり「専念寺」は眞宗にて文祿年中關地武宗祐了の開基なり安永天明中「眞宗」の各稱に付き當時幕府の大勢力を背後に有せる増上寺と争ひ強訴二十餘回拘禁せらるるも屈せず遂に三萬日を期して決定すべきを約さしめし所謂三萬日の御預りにて有名なる鳳景は實に本寺の出なり「眞敬寺」は眞宗にて圓海は開基なり「狸の証文」と稱するを藏せり「本誓寺」は眞宗にて開基蓮弘延徳二年加賀より土崎に來り元和二年移轉せり蓮如上人自作木像後陽成帝御筆等あり「妙覺寺」は曹洞宗にて元古四王權現の末寺たり「善良寺」は淨土宗にて開基は平將門六男東六郎後胤千葉六郎聲譽上人なり雲慶作彌陀、惠心作思ひ出の觀音寺あり「誓願寺」は慶長年間佐竹義宣開基にて覺蓮社良政上人開山たり雲慶作彌陀本尊慈覺作脫衣婆珠磨法眼筆彌陀如來等あり「仰信寺」は淨土宗にて元和中應天和尙の開基にて垂枝の松境内にありて綱掛の松と稱す「立心寺」は開基佐竹義長なり「圓信寺」は佐竹義重の開基にて「本念寺」は元和二年良善上人の開基なり「白馬寺」は佐竹義賢慶長十一年に再興せるものにて

「寶鏡院」は佐竹義人の開基なり「一條院」は市外川尻村に在り元龜二年海義法師の開基にて「乘福寺」は市外添川に在りて永正十七年雲峯慶集再興せるものなり

▲蒼龍寺 曹洞宗にて土崎町にあり應永三年秋田慶季の創立にて「善導寺」は同町にあり寛永三年萬叟上人の開山なり

▲長慶寺 山本郡能代町にあり曹洞宗にて後花園帝の長祿中は一草庵に過ぎざりしが後奈良帝の享祿中春國和尙開祖たり長慶天皇に御縁故ある北秋田郡長慶山にありしが後此地に移せり、三十三觀音は慈覺大師作五知の如來立像五尺五体にて延喜式の出羽國五大尊寺と稱せり「淨明寺」山本郡檜山町にあり眞宗にて安倍貞任の一族僧西道の開基なり

▲玉林寺 北秋田郡大館町にあり曹洞宗にて淺利家の菩提寺にて「淨應寺」は眞宗にて明應年間道觀和尙開基たり、其他北秋田郡には釋迦内の「釋迦寺」扇田の「長泉寺」等あり

▲長年寺 鹿角郡花輪町にあり曹洞宗にて舊南部家の一族中野家の菩提所にて延寶二年五月岩手縣紫波郡彦部村より移轉せるものなり

▲天龍寺 河邊郡新屋町にありて曹洞宗なり文祿四年の創立にて靜光院と稱せしが

天和中より天徳寺の末寺となり鳳凰山天龍寺と改稱せり

▲清光院 仙北郡刈和野町にあり本尊は春日の作にかかる大聖不動明王にて日本三不動の一と稱せらる「本倉寺」は浄土宗にて四百年來の建物なり慈覺の作阿彌陀如來を本尊とす玄關の柱楹は飛彈の工匠の沈彫の刀痕簡勁なり、

▲大川寺 仙北郡大曲町に在り元と大溪寺と稱し曹洞宗なりしを應永中良旭之れに移り曹洞宗に改め有名なる巨刹なり、而して角館町には「天寧寺」あり蘆名佐竹兩家代々の菩提所にて秋田在三個寺の一たり「靈巖寺」は白岩村にありて寶徳二年の創立にて近縣屈指の巨刹なり、其他西明寺村の「西明寺」六郷町の「照樂寺」金澤町の「専光寺」等はいづれも古刹なり、

▲正平寺 平鹿郡横手町にあり長祿年中僧宗篤の開基にて往古勝平寺より移りしもの小野寺家の菩提寺にて藤原武衡の持佛紫銅の觀世音を藏す、境内に本多上野介の墳墓あり「龍松寺」は戸村家の菩提寺なり其他淺舞町には「龍泉寺」あり増田町には「滿福寺」あり

▲湯仙寺 雄勝郡湯澤町にあり慶長九年の創立にて天臺宗なり不動明王を本尊とす

▲光禪寺 由利郡松ヶ崎にあり曹洞宗にて應永二年の創立にて赤穂津家の菩提所た

り龜田町には「龍門寺」あり本莊町には「永泉寺」あり赤田の「長谷寺」は大佛を以て是山大覺禪師の開創とを以て有名なり

### 景勝と古趾舊蹟

#### 秋田市附近

▲秋田趾(久保田城趾) 往古の秋田城は寶字五年出羽柵を改稱せし寺内高清水郷にて次は秋田家(安東)の秋田城は湊城とも稱して土崎町に在り次は佐竹家の秋田城(久保田城)にて佐竹家の秋田城址は聖武天皇神龜元年總社明神を鎮座せし三森山にて神明山、伊勢山、總社森とも稱せしが慶長八年佐竹義宣が城地を茲に營むに當り總社明神を檜山下濱に遷し更に寶永四年を以て川尻村に再遷せり秋田城は遷封後一時湊城にありしか佐竹義宣は規模の狭少一藩を守るに足らざるを察し慶長八年五月家老澁江政光梶原美濃に命じて神明山に築城せしめ同九年八月功を竣へたり別に箭館、箭留山、牛籠山と稱し又槍留城、矢止城、葛根城、葦城とも云ひ其一部は秋田實季の幕下たりし三浦源五郎の居城たりしとも傳へらる城は平地より高きこと八丈

餘本丸、二の丸、帶曲輪、別曲輪、北の丸、兵庫曲輪、上中城、下中城、外曲輪に分れ内外に城濠守門ありて内外曲輪共に一切石垣を用ひず土を以て築造せる城なり建物は明治十三年七月の火災に焼失して残濠の水石の階段のみは其昔の名残りをぞごめ明治二十八年十月より縣公園となりて今日の美觀を添ふるに至れり、

旭川 仁別山に源を發し秋田市水道の水源にて市街の中央を貫流し太平川と合流して御物川に注ぐ其中を貫流するものは佐竹遷封後の堀割に係るものにて長堤の古松蕭瑟として三百年の昔を偲ばしめ櫻花繚爛たる春の景韻華やかに婉なる眺めなるに水清澄詩趣溢るるが如し、而して上流「藤倉」の勝は壯絶奇絶を以て稱せられ「仁別山林」は長木澤に次ぐの美林にて老杉蒼鬱として傘立し幽邃にして深玄なり「搦田」は佐竹家の別莊たりし處にて樹石佳致を極め殊に大盤石燈籠等は由緒を有して珍奇なるを稱せられ如斯亭或は唐見殿と稱し市外躑躅の名所にて今は那波氏の有なり。

猫婆の墓 天徳寺境内にありて他の墓表と異なり木製にて維新前は常に捕繩を施せるよしなり其由來は種々の小説的假想談あれども實は佐竹義處側室室谷氏の墓にて其木製なるより斯る怪談を生せしものなりと、

■**嫗が庫** 今の秋田病院前にて昔櫻の名所として知られ一本の櫻にて今年は一重來年は八重の花咲く世にも珍らしき櫻もありしよし「真澄」の「櫻がり」に記載しあれども今はなし嫗が庫とは佐竹義隆一老夫の貢米を標準として有司の不正を詰責せし由緒より名つけしと。

■**川尻方面** 「お延井戸」は川尻村にあり昔田代國綱許嫁の夫ある女お延を妾とせんとせしに女貞操にして意に従はず自刃せり後人其貞操に感じ瓊宮相殿とし瑞玉能姫命として合祀せり社前に井を堀りてお手洗とせるより稱あり、「鐵砲所跡」は孝明天皇の勅によりて寺院の鐘を以て大砲を鑄し處なれども今は野草離々として昔を偲ばしむるのみ「降る中に降り込む音や小夜時雨」を以て有名なる小夜庵五明の廢跡たる「小夜庵址」は一條院に隣りす「お休の松」はお延井戸の附近にありて今は此地に「お休の湯」と稱する湯治場あり、「鐵座跡」は享保二年佐竹義峰の時代に鐵座を置かれし地なり、

■**平田篤胤の墓** 市外手形山にありて老松影暗らき處一基の碑建立せられ偉人の昔を偲ばしめつつあり、

■**秋田の鎌倉** 八橋寺内方面は詩趣史典の横溢するより「秋田の鎌倉」なる稱あり秋

田市より土崎に至る約一里が間名勝古蹟錯在して歴史的憧憬の念を深からしめつつあり、今其の重なるものを掲げんに八橋のたたら節に「八橋歸命寺は阿彌陀か釋迦か土の底にも鉦の音」とある「歸命寺」には幕府の隠くし目付けたりし「木食上人」の墓あり「千年前の古佛」は「面影橋」側の戸田米吉方にありて觀音勢至二体の青銅金渡像にて明治十二年草生津川より掘出したるものにて推古式なり「乞食權三」の墓は「七面山」にあり寛政頃の人にて至孝にして俳句をよくし「上り下り七面堂の櫻かな」の句あり同處に昔燈蓋櫻とて有名なる櫻ありしよし「日蓮上人の墓」身延山二十九世なりしか後住の事に付き幕府に爭議し延寶七年佐竹家に預けられ九年正月二十七日寂せり「五重塔」は高さ二丈餘花崗石にて昔七面天女に祈禱を請ひ難船を免れし報賽なり、「二王大石像」は刀痕剛健腐蝕の痕翔すべく海中より出現せしと云ふも勝平寺の遺物にて御物川より掘出せしものなり「金輪五郎」の墓は全良寺境内にあり阿仁の生れにて戊辰の志士にて勤王家なり「壯士の墓」佐竹藩勤王史に關係ある明治初年中川健藏等に誤られ志賀徳郷を殺害して自刃せし小室克三外數名の墳墓なり「金蘭齋」は近世崎人傳に有名な人墓も此の附近にあり「舊刑場」は産牛馬組合事務所の競馬場となれり、「寺内村」は往古の「高清水郷」「秋田」「鰯田」なり秋田城下の内四天王

寺を再興せし東門院の寺内の民家に名づけしものにて當時の秋田村は今の秋田市、寺内土崎、泉、神田、水口、飯島、新城等を包含せしものなり「古六騎屋敷」は吹上坂の西にあり秋田城之介の舊臣にて二君に仕ふるを屑しとせず佐竹家より市中に食を乞ふの權限を與へられたるものなり「油田坂」は四天王寺の油田たりしとも旭長者の別莊油の御殿なりしとも傳へらるれど古へより石油脈の此處らに存在したり爲めなるべきか「晝寢山」は油田坂西南の山なり聖武天皇の神龜四年各國に勅使を派し國司の政を觀察せしめたりし時勅使の晝寢せしに衣冠の人夢に現はれ高清水岡に柵を移すべし我は大彦命なりと宣へるよし奏聞して之れを移せりと「仙臺殉難碑」戊辰の際秋田に於て殺害せられし伊達家の使臣志茂又左衛門以下を葬りし處なり「四天王寺」(國分寺)は推古天皇時代に建立されしものなるが其所在地は神田、水口邊にて四天王堂は後の古四王大權現今の古四王神社の地なり清泉湧き靈龜出顯の瑞ありしより龜甲山四天王寺と稱し龜頭山妙覺寺龜尾山大悲寺等の坊院を存せしが明治初年佛體は遺棄せられ純然たる神社となりたり「東門院址」「田村將軍城址」は此の附近にあり「幣切山」と「將軍野」古四王社に祈禱の白幣を切れる處を幣切山と稱し將軍野は幣切山一帶の砂原にて田村將軍が女米木より大瀧丸を追撃したる際陣を布きし處にて此

地に「幕洗川」等あり「高清水とウンナンソウ」今の高清水とは古四王神社前を稱す此の清水に棲息せし双棲動物にて長さ一二寸蝦蟇と蛾斗とに類似し山椒魚の一種あり今近傍の清水又は縣内山間の溪流に棲み生吞みすれば胃腸の藥となる昔田村將軍東征の時病に臥し近臣の勸めにより高清水のウンナンソウを服用して全癒せしとあり明治四十一年九月今上陛下東宮にあらせられし頃東北行啓の砌り御下問ありしは之なり「長者塔」は古四王社より南西三丁の地なり昔旭の長者夕日の長者の住み捨てし屋敷跡なり「香爐木橋跡」は伽羅橋又は龜馬橋と稱せられ高清水の井より西方にありし薰香の名木なりしと「菅江眞澄の墓」は寺内共同墓地にあり三河の人にて秋田に來往し博覽強記にして奥羽蝦夷を跋渉地理歴史に詳はしく佐竹義和の命により編著せし「眞澄遊覽記」八十餘卷の著述あり文政十二年七月十九日死せり「二つ五輪」は字城畑にあり慶長十九年最上守親の臣我孫子左衛門弟藏人と共に秋田に逃る最上家佐竹家に誅せんことを乞ひ梅津主馬命を奉つて土崎歡喜寺に自刃せしむ「勅使館」は假月形にて東西十間南北六十間俗に之れを秋田古城址と稱するも出羽柵又は秋田城に下向の勅使を迎へし居城の舊稱を襲用せしもの如く又秋田城之助と自稱せし安東實季の子源九郎愛季の居りし跡なるより爾か云へるならんと「出羽柵」(國府)和銅二年

出羽郡(今の羽前田川郡)に置かれしを天平五年秋田村高清水に遷せり即ち府治の出でし處にて神明山(後久保田城今の千秋園)の總社も之れに附屬せるものなるべく約二十九年を經寶字五年に至り兵備の必要起り規模を城廓に改め之れより出羽柵は「秋田城」と改稱し府治兵治共に行へること日本後記にも詳記せり柵址城址は何處の處なりや高清水の名稱よりすれば今の寺内山、土崎公園、古四王神社方面の高地たりしこと疑ひなきも天長の大震に地勢大變化せるが如しされど同地方より現に「高」  
「秋田」「秋」の文字ある古瓦を掘出さる其三種は天平五年の出羽の柵寶字五年の秋田城建築天長七年大震災の再築を證するに足る天慶二年蝦夷の叛亂により焼失せし後  
のことは明らかならざれど「元慶」の文字ある古瓦を藏せるもあり「五輪塔」は五輪坂にあり又兩津坂とも云ふ田村將軍の城と高清水の柵との中央なるを以て之れを稱す  
又龍頭坂と云ふ元祿年間土崎の人矢守孫兵衛此の坂を開らきしと此他に「櫻姫の墓」  
「面影の水」「行逢の間の跡」「議定嶋(田村將軍賊を討ちの議を定めし跡)」「綾の小路」  
「長者誕生の水(夕日の長者が乙女四月八日生)」「曙御殿」「旅寢の巖の櫻花」「涙の露  
井」「梅屋敷(繪旨梅)」「藤茶屋」「剪絲の水」「緒環の路」「紫波の渡」「妻戀山」「旭山」「旭  
長根」「根笹山」「十二天林」「組屋敷」「鐘播村」「大悲寺邸」等いづれも優婉に詩趣史興



の線繞せざるはなし眞に繪の如く詩の如きは八橋、寺内の風韻なり

■金砂神社 〓 櫻神社 〓 市内保戸野にあり金砂神社は佐竹家の居城ありし常州金砂山より移せしものにて櫻神社は其の相殿にて五陵の宮と稱し佐竹家十三世の祖義宣の姫女の諸道に通じたれども容貌醜なりしたため金砂神社に參詣の途次手洗鉢に面影を映し發狂して井中に投死せり年二十父太田郷に一寺を建てて祭り後神宮とし遷封と共に今の地に移せり女の守本尊と崇めらる

■諏訪神社 祭神は建御名方命佐竹家祈願所の一社なり維新前祭日に藩の厩より備馬を出だし徒士三十人を附し神靈を迎ふる古例あり又重五節句の前夜男女七橋を渡り狐火を見る習慣ありたり狐火とは翌朝に用ふる菖蒲を取る炬火なり

■勝平神社 祭神は武甕槌神俗稱毘沙門堂往古勝平山に在りし古社にて田村將軍の創立にかかり鶴田の浦の神と稱し源頼義之れを再建し後ち種々の變遷を経て明治二十年九月今の地に移せり

■太平山遙拜殿 市外赤沼にありて元藩公の雪見御殿址なり後太平山遙拜殿となり境内幽靜にて清興の湧くを覺ゆ「幽賞亭」は其後方山林中に在りて元佐竹侯の別荘たりしが今は那波氏の有に歸したり「木曾吉神社」は秋田市より二里餘毎年一月十七日

山開らきと稱し梵天奉納の例あり

■勝手明神 市外太平村にあり河内水分村建水分の神社を勸請したるものにて天水分神を祭れり楠正成の崇敬せし神にて「久方の天つみこと」の安かれと祈るは國のみまくりの神との歌もあり維新前武士の守護神と稱せられたり

■金照寺山 市の東南に在る丘山にて景趣東山に似其太平川に沿へる地は嵐山の倅あり舊藩時代に於ては市中の桃李を眺臨し又端午旗幟を瞰下するの勝地とされ野趣情韻に饒かなるの地なり

■三光神社 市外柳田新田俗に「ひっさき」と稱する廣野の高處にありて田村將軍の建立にて境内綠樹鬱蒼として清涼の氣に充つ「田村道」と稱する牛嶋端れより三光神社に通ずる一路にて往昔田村將軍が女々木山中より男鹿に大瀧丸を追撃せし道路なりと傳へらる

■瓊宮神社 市外川尻村の村社にて香櫻山と號す文德天皇仁壽二年左近衛中將某の二男藤原峯世諸國を遊歴し天安二年六月此地に止まり一社を勸請し天御中主尊外九柱を祭り永安六年安東家臣箱岡城主小笠原右馬助の鎮守となり慶長年中佐竹義宣箱岡城を破却して田代氏に與へ氏神となさしめたり大道館、春秋殿等ありて月郷雲客

の詠進和歌がある維新前は男女の參詣者多く祭日には死傷者を出せし程なりしと

「箱岡稻荷」は佐竹義宣築城の地を垂示せられし地なりと傳へらる

■杉生大明神 市外添川にありて大己貴命を祭る三輪大明神と一体にて人皇十一代  
備仁天皇二十六年八月三日神託にて國々大社を建て出羽九座の内保呂波山、杉の宮  
杉生是れなり

■高倉觀音 所謂藤倉觀音にて田村將軍東征の際苦戰せしに東方より白雲飛來して  
勝利せしを以て將軍守本尊の觀世音を安置し之れを祭り大同年中の建立なり元と七  
堂伽藍ありしも中頃荒廢せり天狗、姨の面三つありて面の裏に徳治元年の年號あり  
麓に菩提樹薄墨樹の名木を存し本堂より里餘にて奥の院あり御手洗の池ありて一日  
に二三回赤白黒の色に變ず阿堂の池と變ず「愛染明王」は濁川より半里昔より紅葉の  
名所たり

——南秋田郡と山本郡——

■榎の岐路 追分驛より男鹿への通路は昔榎の岐路と稱せり「陸奥の飽田の山は秋  
霧の立野の駒も近つきぬらし」の立野の牧は「北野天神社」のある邊りの稱にて天王  
村附近のことなり社は天延年中木口因幡なるもの菅公の御衣と石像とを持ち來りて

祭りしものなるが現今の新廟は寛文中佐竹義處公の再建せる所にて結構美麗にて  
彫刻精巧鳥獸人物共に生けるが如し「八龍神社」は船越にあり「脇本古城址」は文化七  
年の大震に陥没して元形を失へるが追がに男鹿半嶋に其威を振ひし古英雄の鎮せし  
處たるを以て古址舊蹟錯在して歴史上の感興を惹くこと限りなし

■寒風山 妻戀山又は羽吹山とも稱す藥師長根といふは其頂上にて八尺餘りにて九  
層の石塔あり「京の町」「石倉」「舊珠池」「新珠池」「蛇越長根」「龍の馬谷」「封蛇石」等見  
るべきの地少なからずして寒風山の歌塚は「あしびきの山の秋風寒き夜になほ妻戀  
の鹿ぞ鳴くなる」の歌に古韻を偲ばしめつつあり

■副川神社と森山 八郎湖東奇峭を以て有名なるは「森山」にて「高岡山副川神社」は  
正徳四年の再建にて式内社の格を有する古社なり其の由緒を詩材として北嶋傳四郎  
氏艶麗なる筆致に成れる淨瑠璃「副川靈驗記」あり「若宮八幡宮」は一日市村にあり、  
「織田信雄」の舊蹟は山本郡鹿渡村天瀬川にありて花開かず實結ばざる柿の樹あり此  
處らに産する甜瓜を御紋瓜と稱す織田家の紋章に似たるを以てなり鶴川村親木は阿  
部比羅夫の舟を泊せし處なりと傳へらる「狐館」と稱して蜃氣樓の現出することあり  
或は「亡靈火」と稱して七八月頃湖上に陰火の明滅するあり

小嵐山 南秋田郡富津内村中津又にありて五城目町より二里櫻の名所にて形勝嵐山に酷似するを以て小嵐山の稱あり附近に古城址少なからず  
 日吉神社と八幡神社 山本郡能代町にあり日吉社は天文二年秋田太郎景季の臣清水治郎兵衛政吉靈夢により海濱より神体を得祠を建立せり此時奉納せる神鏡及大刀福岡一文字を存せり外に雲慶作獅子頭徳川家光筆と稱する景清の懸額あり境内櫻花多し「八幡社」は慶長年間の遷座にて齋明天皇四年北夷征伐以前の社と稱する住吉神社をも祭れり境内幽邃閑雅にて太さ八尺六寸高さ五丈八尺東西十六間四尺南北十三間二尺大樹七本に纏絡する稀代の神代藤あり「忠信涉波濤」の懸額は有名なるものにて文化四年露國エドロフに冠しナイホロの柵を焼きシヤナの柵を犯してナヨロ山上より我が戌兵を砲撃するや幕府の命により五月二十四日藩主佐竹義和直ちに出兵せしめんとせり風浪荒くして出船するを得ざりしかば義和其額を住吉社に奉納せしに士卒感奮し艤装を整へ先鋒第一の功を奏せりと  
 八森岩館の勝 能代より北海岸大間越街道にあり八森は鷺森、學森、狐森、小糠森、大糠森、相善森、笹森、觀音森より成り「不動の瀑布」は壯觀を極め岩館は奇巖怪石多く風景壯絶男鹿の奇峭に譲らずと稱せらる

五月雨沼 柳村にあり田村將軍蝦夷征討の際三頭龍神を請じて雨乞の祈願をなし敵を撃ち沈めたりと傳へられ五月雨沼とは佐竹侯の命名せるものなりと  
 愛宕神社と越玉神社 檜山町にありて愛宕は往古安倍愛季の創立にて越王は田村將軍の創立にて後安倍信季元龜元年再建し社傍に「龜井の水」と稱する清水あり老杉(回り四丈五尺)の下に湧出す  
 兜神社 切石村にあり文治五年藤原泰衡蝦夷に落行かんとして疲勞甚だしく此地に兜を遺して川を過ぎ薄井に鎧を脱ぎ比内二井の柵に於て郎黨河田次郎の爲めに弑せられたり里人之れを憐み祭りて神とせり寛政乙卯三月佐竹義和巡村の際此の兜を見て城庫に收めしむ此の兜は天喜の頃奥州金澤の住人大一入道の作なりと傳へらる  
 「鎧神社」は泰衡の遺棄せし鎧を祭れるものなりと  
 山鹽井と銀杏神社 切石西山の麓にあり古老の傳説に據れば弘法大師の法力によりて湧出し初めは白鹽なりしが後潮水に變じたりと俗に弘法の突き鹽と云ひて味甚だ鹹からざるも魚肉を煮て美に蔬菜を貯藏するに佳なり神社は二ツ井村社にて周圍二丈七尺の公孫樹三株を有するを以て此名あり乳を垂れしは乳を守るの神と稱す  
 「縛りの奇峽」 藤琴川の上流粕毛村より一里餘にて奇巖怪石碧濤白泡と相激し奇

峭を以て世に聞ゆれども路險にして清遊の便少きを憾みとす。

●**倭后坂** 奇巖怪石を以て成り矯松矮樹を點綴して宛ながら北宗の古畫を観るが如し坂は郭公坂とも稱し眺賜奇絶壯絶米代藤琴の二川脚下を流れて白雲綠樹の間に七座の鬼斧神工を望む明治十四年東鶴の東巡を迎へて倭后坂と改稱し巖を穿ち石を掘りて墜道を通せり「籠山」は倭后坂の一脉にて又香山籠山神護山と稱し太良鑛山及び阿仁鑛山製鍊場のありし處にて此邊山吹を以て名あり「荒果てし今は實のなき山吹の花のみ咲ける籠山の里」とあり

●**高岩山神社** 荷上場より一里幽邃の邊にありて元とは弘法及び慈覺の建立にて千歳の古堂にて藥師如來を本尊とせる梅林寺は嘗て其麓にありしものにて本殿は寛政六年檜山の棟梁某の建築にて四間四面板葺の白木造りは京都清水觀音に比して大に誇るに足るものありと云ふ境内來迎石、圓廊石、籠目石、籠り石、痘神石、胎内潜り岩、地獄石及び三丈五尺餘の老杉あり而して山の峯續きに地這りの禿ありて俗に藥鑛子と云ふが此の禿より海栗貝の化石を發掘せらるるが故に此の山頂も太古の蒼海たりしならんと察せらる「七化の水」「甘池」等の奇勝あり

—— 北秋田郡と鹿角郡 ——

●**森吉山** 海拔四千七百九十八尺の峻峯にて藥師尊二体を祀る而て山頂に田形代其他奇石怪巖の類甚だ多し雲常に半峯に搖曳して森嚴の氣に充つ北秋第一の高峰にて本縣の靈山として知られ高山植物の珍種に富む其田形代なるものは田村將軍東征の際此の地方に住みし雲切丸星切丸の二曾を放ちしが此の幽谷中に隠れし子孫の所業ならんとも或は山中に棲息する山人の所爲ならんとも傳へらる

●**阿仁川の勝** 其沿岸奇勝少なからず其「水無」より米内澤間は河窄く流れ急に石怪に舟危く巨巖碧潭一竿の棹一葉の舟飛箭の如くに下る舟も蒿師も欸乃も古韻の饒かなるには何人も夢の如くに太古憧憬の念を深からしめざるべき藤花紫に躑躅紅に燃ゆる初夏の風物殊に清興を惹く「前田古城址」「米内澤古城址」等いづれも其の附近にあり。

●**岩神の勝** 大館町附近第一の勝として知らるるは鳳凰山岩神の地なり全山奇巖怪石突兀假塞奇態縱横の觀あり巖頭には老松怪莽參差として隱見し奇趣言はん方なし春の花秋の紅葉の景致華麗目もさむるばかりなるに長木川の清流淙々たるあたりに鳳凰鬼城の大石相對峙するあり景勝第一と稱せらる。

●**大館城址** 桂城とも稱せり安倍貞任の臣川田治郎之れに居り北羽の名城たりしが

天文年中獨結の城主淺利與市朝賴之れを鎮し天正九年秋田城介實季の弟之れに居る天正十六年南部家の臣北左衛門信愛之れを攻め信愛の二男勝藏之れに代る慶長七年佐竹遺封以後佐竹義久之れが鎮として維新に及べり

■贊の柵 二井田村に在り七百年の昔厚禰山無根藤などの軍破れて泰衡落ちのびて蝦夷千嶋にや渡らんと出羽國に至り世臣河田次郎の贊の柵に栖めるを訪ね來りしが河田俄に心變りて泰衡を弑したりしと時は恰も文治四年戊申九月二日なり「五輪堆」は夫人の墳墓なりと

■片山の多母木 大館附近片山に八坂神社あり元明天皇の和銅七年の創立にて境内に一千二百年以上を經過せる多母木あり周圍三丈三尺高さ二十三間一尺といふ稀代の老樹あり村民は作例木と稱し發芽の季を以て挿秧に着手す

■松峰の傳壽院 釋迦内にあり弘仁八丁酉の年僧空海の開基にて觀音大日彌陀の三尊を安置せり天安元丁丑震災の爲め佛像は沈亡したるが後宇多天皇の寛平二丁亥出羽の郡司良實の子四品小野良房を勅使として御製の和歌及び菅公の月山大權現の額宇を賜ひ之れを再建せしめたり

御製 「いやましの光りも時に埋もるる顯れ照らせ松峰の月」

■根井權現 花岡の地にありて阿闍梨教圓の「念彼力過去現在の罪消ねてありやなきやの根井の白瀧」といふがありて昔よりの勝地なり田村將軍も「おもひある心のうちの瀧なればおつると見えて音の聞ゆる」と堂の柱に書い残せるよし瀧は堂の邊りの山陰にあり安倍貞任の兄井殿盲目安藤太郎良宗戰敗の身を此地に潜め遂にみまかれる壘は目倉平といふにあり。

■長慶金山 長慶天皇の遺蹟にて天皇蒙塵の際隨臣をして採掘せしめし金山にて天正中再興するものありしも爾後荒廢せり、

■鹿戸神社 白澤驛附近にありて一寸八分の金像觀音を祭る昔源義經の臣龜井六郎蝦夷に走らんとして此地を過き兜裏に藏めし觀音を遺書と共に路傍の槻の樹の中に納めしを文治五年七月發見せるものなりと、

■岐美山 兩山相對し男神山女神山と稱し風景絶佳なり川田剛氏の詩あり「清沙白石水涼々、洗出雲鬢見婉容、世識溪山嫌寂寞、男神峰對女神峯」と

■長走の風穴 全國有數の風穴なれども木縣人の利用まだ十分ならず、鬼神お松の笠松峠と矢立峠とは此の附近にあり矢立は相馬大作が津輕侯を狙撃せるの地なり

■長岡城址 淺利與市則範の支城たりし所にて扇田にあり城址は現今梨園となり居れ

ども城の舊形は今尙保全せらる長岡の櫻とて昔は有名なりし由なるも今は一木もあらず、

神明社 明治戊辰の役の激戦地にて今尙亭々たる古杉老樹の梢幹に彈痕を印しつ

つあり地は米代川に沿ひて静閑而かも眺望四濶風趣秀勝を以て稱せらるる、

大日堂と琵琶 扇田附近獨鈷の地にあり淺利家の菩提寺たる立昌寺は大日如來の靈像を安置す慈覺大師の作なりと傳へらる板額の愛藏せし琵琶は淺利家の什物にて大日堂に藏せり今上陛下の御上覽に供せりと、

眞澄 「昔誰が手に馴らしけん四つの緒のしらべに通ふ松風の聲」

月逢 「裂帛聲消歲月深、悠々留得古人心、干今山壑松風夕、尙作嘈々切々音」

十二天神社 十二所町最古の神社にて當今は町の鎮守たり祭神は不明なりしが菅江眞澄享和二年の頃來遊して社殿の棟札等を檢し天神七代地神五代を祀れるなりとし「この宮を何の社と人間はばあまつ七よの神と答へよ」と和歌を其の棟札に記入せりと、

三哲山 南部九戸の浪人にて本名千葉上總介藤原常政と稱し十二所に往みける仁俠の行ひ却つて罪に問はれ大瀧に捕はれて死せるより村民之れを山上に祭りて神と

なし三哲山と稱す。

花の十二所 十二所は昔より花の名所として知られ春霞蝦夷が杜にたなびきて輕風柳糸をそよと吹く彌生の空華やかに薫する比合梅櫻桃季花一時に咲き亂れて雪に

寂びれし十二所所は春興すじろに詩情を惹きたりし由は眞澄の遊覽記にも書き殘されたり「花の袖山」な稱する地名も残り居れり。

鞍掛山と「鏡が淵」 米代川の清流を隔てたる一帶の連山の頂上は駒の鞍かけたるが如きを以て稱あり景勝の地として知られ鏡が淵は米代川の輕井澤石切場附近に

あり敵將陣没の地なりと傳へらる、

四道將軍の遺蹟 鹿角郡柴平村は四道將軍の一たる四道將軍陣没の地にて「猿賀神社」は將軍を祭れるものにて神体は烏帽子垂衣右手に斧左りに繩を持ってり實に一千五百年前の遺物なり、

大日靈貴神社 本縣有數の古社にて宮川村に在り祭神は天照太神にて繼体天皇勅願善記二年の創立にて元正天皇養老二年再建寛文六年再々建にてダンブリ長者吉辭

天女等の縁起あり、

大日堂 小豆澤にあり田村將軍の創建にて堂は九間四面にて四本の大柱にて支へ

たる古社にて建築の技巧驚歎すべきものなり祭事の古例たる舞樂の五大尊舞に用ふる假面及び四乳の鑊を寶物として藏せり、

■五宮嶽社 五宮嶽にありて元正天皇養老二年勅願創立應永十八年再建寛文六年嘉永二年再々建にて祭神は繼体天皇第五の皇子菟皇子命なり、

■錦木塚 錦木村にありて古草木里長の子某政子と云ふ女を戀したるも政子の父之れを許さざりしを以て里長の子悲みて死せり政子も之れを聞いて遂に死せり父母之れを悲みて二人の亡骸を千束の錦木と共に併せ葬れり推古天皇の七年七月なりしと能因の歌に「錦木は立ながらこそ朽にけれ狭布の細布胸あはずとや」一とあり、

——河邊郡と仙北郡——

■高尾山 女々木山とも云ひ海拔一千二百四十尺海邊山中の高峯なり田村將軍に征せられし大瀧丸の住せし所にて後安東家の一族之れに據りて「手の前館」と稱せり、

■岩見川と筑紫森 流程十里風韻饒かなる岩見川は岩見村に至れば「岨合」と稱する景勝の地あり斷崖絶壁相對する間岩見川の清流石に激し晩春の頃躑躅の花眞紅色燃ゆるが如きを見る「筑紫森」は岩見川の上流砂子淵にあり岩谷と共に妙義榛名の如く稱せられ全山奇石怪巖を以て成り鐵鎖及び菊蘿を攀ちて登る老松蟠屈し山上筑紫神

社を祭れり古き銀山なり岩見川は鱒と鮎の名産地にて「鵜繩」と手捕鱒との奇法あり

船岡は「根花餅」の産地なり郡内古城址頗る多し秋田城介時代のものなりと傳へらる

■唐松神社 仙北郡境村にあり元と唐松岳にありしが天喜五年酉年の創立にて用明天皇二年守屋大臣の子孫が世の臣捕鳥男が奉じて此地に來り物部の連に賜はり傳はれる神功皇后の御腹帯を納め祭れり又源義家の再建せる祭神は息長足姫命にて安産の神と稱せらる康女六年改築して軻遇突命を祭れり、

■刈柴の關 昔白河の關と併稱せられし古址は刈和野町の「與力館」にて古歌に「夏と秋と行かふ瀧や白糸の紅葉織込む帷子の里」と稱する「帷子の里」とは刈和野峯吉川の方面なり「浮嶋神社」は刈和野にありて「行者石」と稱する巨石あり一本齒の下駄を納むる奇習あり什物に狹獅子あり一月十五日有名なる綱引の神事あり、「根本通明博士の碑」は公園にあり「觀水亭」は願龍等の一離亭にて御物川を隔てて三百町歩の菜の花を一望すべく眺望廣濶なり「白糸瀧」「行者窟」「萬岳山觀音」等は峯吉川にあり「龍藏堂古館」は北檜岡にありて安倍貞任の居城たりし所なり。

■神宮寺嶽 神宮寺町にあり海拔一千八十二尺一峰十三溪より成り驟雨一過すれば溪流悉く飛瀑となりて落下す古松老杉蒼々として靈秀の氣を鐘めたる名山なり御物

川及び玉川は山麓に合流し五百間の長橋二千五百呎の鐵橋双龍の如くに蜿蜒して縣内の大奇觀なり山上に六所の神社あり百穀の神とし舊藩主の崇敬社なりしと「副川神社」は頂上にあり大寶元年藤原不比等奏問して此の山を開らき中津媛を祭れり山麓に「花小屋の清水」ありて御膳水と稱す「松山公園」は鶴羽城址にて安倍貞任の柵にて青松の間に點綴し春の眺め秋の紅葉名所たり「姫神山」は神宮寺嶽と相並らびて山頂の姫神明神は貞任の娘を祭れり「大戸川の鮭漁」は大曲附近の一名物たり「諏訪神社」は大曲町の鎮守にて綱引は一月中の神事なり「虎王丸の墓」は大曲八幡社境内にあり五輪の塔なり高七尺五寸下層三方に梵字あり元享二年七月五日立とあり前田又左衛門の祖の墓なりと傳へらる「孔雀城址」は高畑にあり文中が宮樫家の一門左衛門佐の裔勝家元龜元年高畑に築けるなりと「西山公園」は大曲を去ること里餘山を負ひ水に臨み櫻花楓葉四時佳ならざるなく飛瀑懸り清泉湧く亭あり暢神と名づく眺望廣淵其勝松山と並稱せらる「長野の八景」角館街道に當り公園あり八景の勝あり「角館町附近」は山紫水明の地にて景趣瀟灑にて風光明媚ながら京都の如し稱して秋田の京都と云ふ京都高倉家より佐竹家に入りて角館城主となりし義隣は京洛の故都を偲び角館の形勝之れに酷似せしとて地名に小倉山加茂川の名を附け櫻花の一名

所たり「大藏山觀世音」は神代村院内の山腹に奉祀せらる大同二年の草創にて本尊は鑄製一寸八分の觀世音像にて田村將軍東征の際兜の八幡座に藏せしものにて清水觀音の分身なりと「小沼社」は豊岡村にありて養老二年の創立なり生保内には「雨瀧」の勝あり「姫塚」は平將門の息女瀧姫の墳墓なり「中山善哉」の故宅址等は其附近にあり「門屋城址」は西明寺にあり戸澤家十一代の居城址なり。

■清水の里 六郷町は清水の里と稱し山紫水明の地なり「諏訪社」は大同二年田村將軍の建立にて六郷家の鎮守なり「熊野社」は同上の創立にて文治三年武藏坊辨慶の再建にて建久三年源賴朝三十二神を安置し六郷家の崇敬社たり「大桂寺」は佐竹義重の居住せし所にて「御膳清水」あり「似手兒の清水」は古來より滾々として減退せず深三間幅一間にて六郷一町に飲料水なるのみならず二千石の田地に灌漑す榎本武揚嘗て之れを喫し「夏の都」と歡稱せり「堀田城址」は拂田にあり天文慶長中堀田治郎亟の居城たりし所なり。

■金澤の柵 寛治元丁卯年陸奥の浮囚清原武衡家衡亂を起し頼家自ら數萬騎を率ゐて攻む武衡等此の城に據りて死闘し容易に降すこと能はず城の南方山上に登り城中の形狀を瞰ひ用水の乏しきを知り金洗川の水源を遮斷し以て持久之謀を講じたり既



にして城中食盡き同五年十二月十四日夜武衛等柵を焼きて自ら逃る家衛服を變じて逃走し武衛沼中に隠る義家の兵索め得て之れを斬る家衛は義家の従士縣小次郎に殺さる尋て事平らぐ今に本丸二の丸北の丸西の丸及び前城の舊形を存せり今は町經營の公園たり「西の沼」「飯塚山」「輕藻沼」等は此の附近にあり「八幡宮」は寛治七年源義家勅宣により羽州鎮護の爲め山城清水八幡より神璽を勸請し堂宇を建立し後慶長九年佐竹家の再建する所なり什物に義字の佛三藏筆の盤若經運慶作の猿田彦古劍古鏡古鐸等あり「厨川」は鎌倉權五郎景政の功名せし所なり

——平鹿郡と雄勝郡——

■横手城址。城山と稱し又阿櫻城朝倉城とも云ふ寛治中藤原正衡此に居住し文治中横手佐渡守之れを領し後醍醐帝の御宇相摸次郎遠光之れに居り天文中湯澤の城主小野寺中宮介輝道此等を亡ぼししより山城となれり佐竹遷封後戸村家世々守堡たり戊辰の役苦闘せし所にて兵燹に罹りて城樓悉く焼失せり「大屋の梅林」「瀧澤の櫻樹」「天の坂大瀧」「白瀧の觀音」等はいづれも横手附近の勝たり「切支丹塚」は吉田村にあり「鎌倉八幡社」は醍醐村にあり治暦三年の創立にて義家の乗鞍を藏せり「増田古城」は土肥次郎道近の居城址にて「眞山人」は清原武則の居城たり今は名公園の一たり「梨

木公園」は十文字にあり「小鼓柵址」は植田村にあり「古四王神社」は崇神天皇十年の草創なり「大清水庭園」は近氏の庭園なれども風韻の饒かなるを稱せらる「沼館城址」は庄司友利の居城址たり「首塚社」には人頭化石の神寶あり「燈八幡」は義家の燈を藏す「阿氣公園」「沼館公園」の勝此の附近にあり。

■岩崎古館址。慶長年中迄小野寺義直の臣岩崎河内守の居城たりし所にて町は佐竹壹岐守の城下たり「湯澤古城址」は小野寺重道の臣三春美濃守の居城址にて元和年間より佐竹義種の領有たり「御宿山神社」は古來より靈驗著るしきを稱されたる神社なり「東鳥海山」は須川村にあり宇氣母知神を祭る山上に鳥海と稱する清水あり延暦二十辛巳年田村將軍の建立に係り鳥海彌三郎の開基なりと傳へらる「三輪明神」は杉の宮にあり養老二年の建立にて空海の作たる藥師大日如來像を藏す三輪杉と稱する巨樹あり「佐藤信淵紀念碑」は西馬音内村社境内にあり翁の誕生地は新成村郡山なり「東向寺」は玄翁和尚の開基にて境内に七不思議あり「金峯山」は養老七年の開基にて「鷺座山」は續日本紀に寶龜十一年二千の兵を遣はし鷺座を略せしと云ふは此所にて白爪の鷺を産せしを以て名あり萬葉集に「身をあけになして出羽の鷺のみとるてふことのためしやはある」とあり「山田古城」は山田村にあり清原武衡の居城たりし

所にて「鬼が窟」は阿里王の住みし所なりと。

芍薬塚 小野小町の遺蹟にて九十九首の和歌を詠じ號して徳實花といふ花は一重にて色淡紫葩は大にして香氣強く九十九株を存す「ニッ森」は深草少將の遺物を埋めたるの地にて「小野寺」「桐木田」「泉澤」「墓館」「大水口」「走り明神」「辨財天」「由緒の松」等いづれも詩趣史興を惹く實方少將の和歌に「なきあとや有りし昔の雲の月小町の人かなしはし逢ひ見ん」とあり。

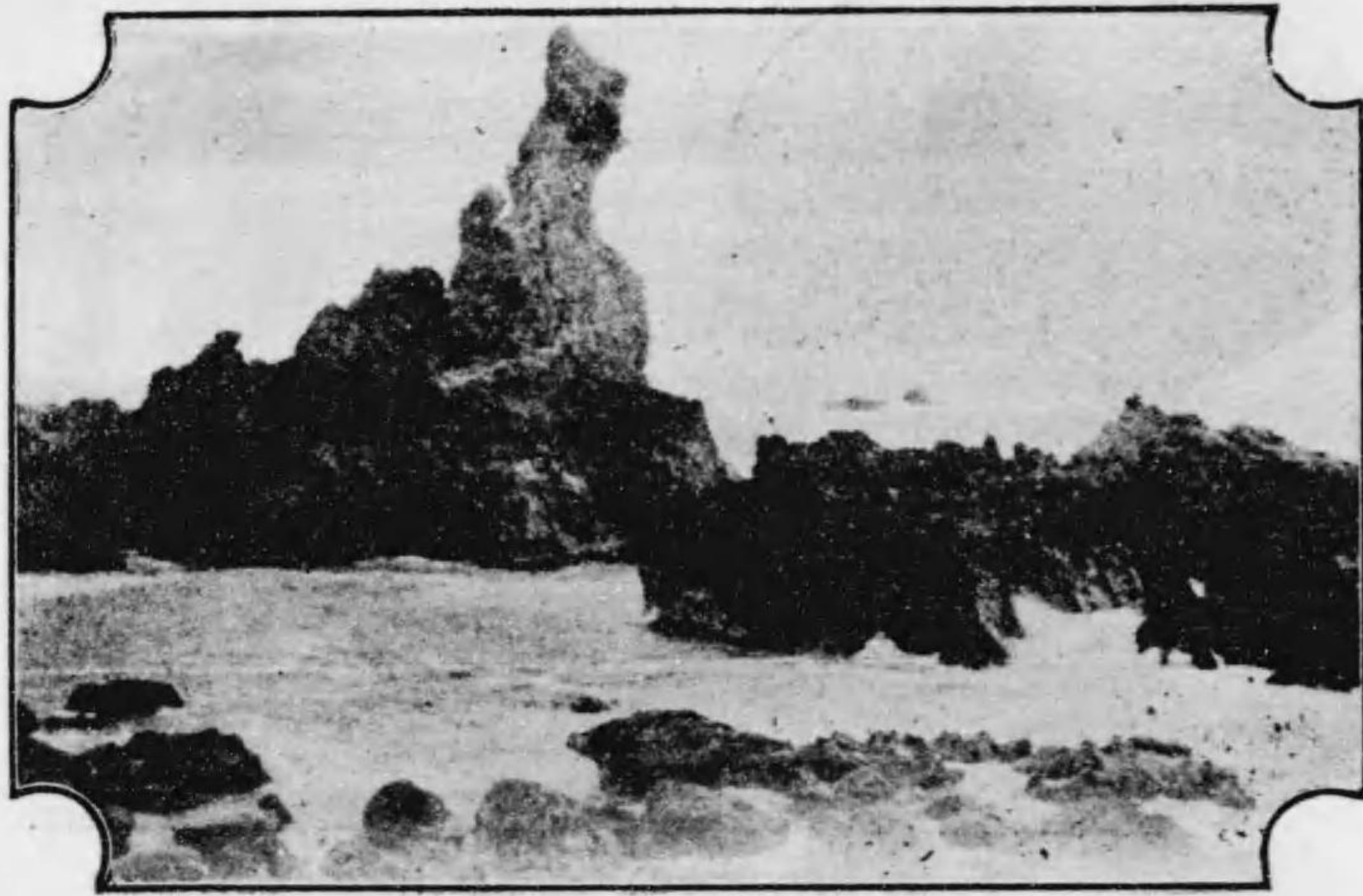
院内關趾 院内にあり昔は箱根以北の險を以て稱せらる「古館址」「白が館」「五戸館」「愛宕神社」「銀山川」「松根城」等の勝蹟あり。

由利郡

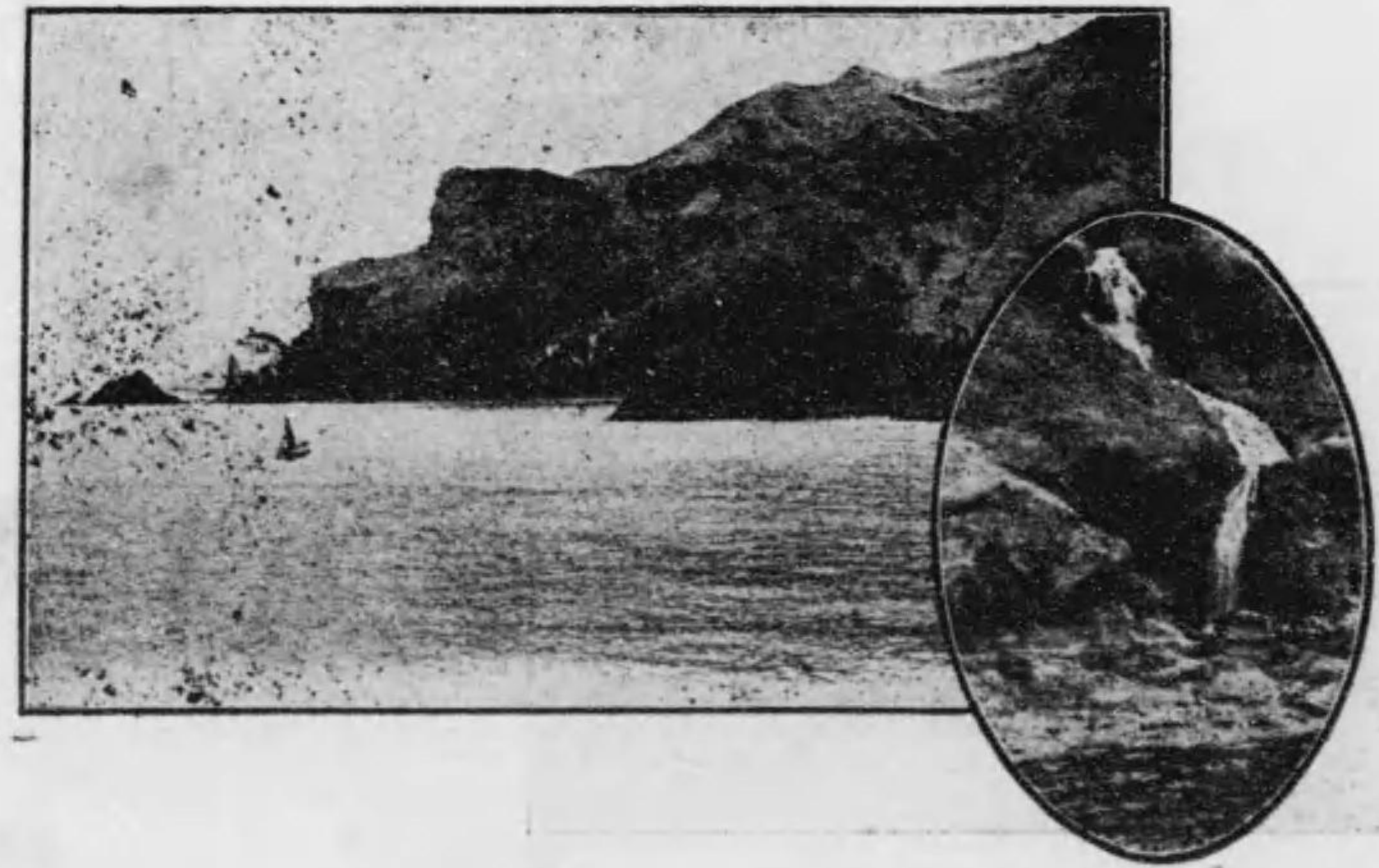
由利街道 長濱羽川附近は戊辰の戰場にて「勝手明神」は道川村にあり養老年中の古社にて「瀧宮」は田村將軍の創立なり「鶴潟」「鳥沼」の勝あり龜田町には「龜田城址」あり「赤秋津城址」あり袖振坂は田村將軍の古蹟にて月山神社あり、本莊町附近には「赤田の大佛」あり「岩谷館」「内越館」「鳴澤館」「瀧澤館」「蒲田館」「玉米館」「石澤館」「下村館」等いづれも其附近にあり、「矢嶋城」は八汐城と稱す應仁年中大江義夫の築けるものなり後幾多の變遷あり寛永十七年生駒壹岐守高俊之れに封せられ維新の際

に及べり「根の井」「荒倉古城」「義民仁左衛門の首塚」「勤玉家」「土田衡平の墓」等あり「觀音岩」は直根村にありて奇峭を以て名あり「法臺瀧」は百宅の地にあり直下百七十五尺の飛瀑なり、仁賀保地方には「丁又塚」あり平澤灣頭の小丘にあり由利八郎政春の遺子丁又丸の碑なり附近古城址少なからず。

象潟の古蹟 松嶋は笑ふが如く象潟は怨むが如しと稱せし景勝の地も文化元年六月四日の地震にて各區悉く埋没せり舊紀によれば此地昔東西二十餘町南北三十餘町蚶滿寺を繞りて九十九嶋八十八潟あり南の市を荒町と云ひ市中に石あり冠石と名づく市嶋の水汀に石壁あり青塚と稱す此所を経れば二刹あり南を長仙寺北を千手寺と號す八十八潟九十九嶋のただすまの繪よりも美はしきよしは芭蕉の奥の細道に盡せり「奈曾の白瀧」は小瀧村にありて秋田水電の發電地たり古來よりの名所にて夫木集に「出羽なる奈曾の白橋なれてしも人をあやなく戀ひ渡る哉」「千早振る神の誓ひのゆふたすきかけてぞ渡る奈曾の白橋」とあり「白絲瀧」と「七つ釜瀧」との奇勝は共に稻村岳にありて諸溪流の合流して一大瀑布をなせるものなり「烏海山」東北唯一の名山にて直立六千尺頂上七高山新山相對峙し鳥の海と稱する小湖は噴火口附近にあり國幣中社大物忌神社は山上にありて出羽一の宮と用明天皇勅額を賜はり登山は山形



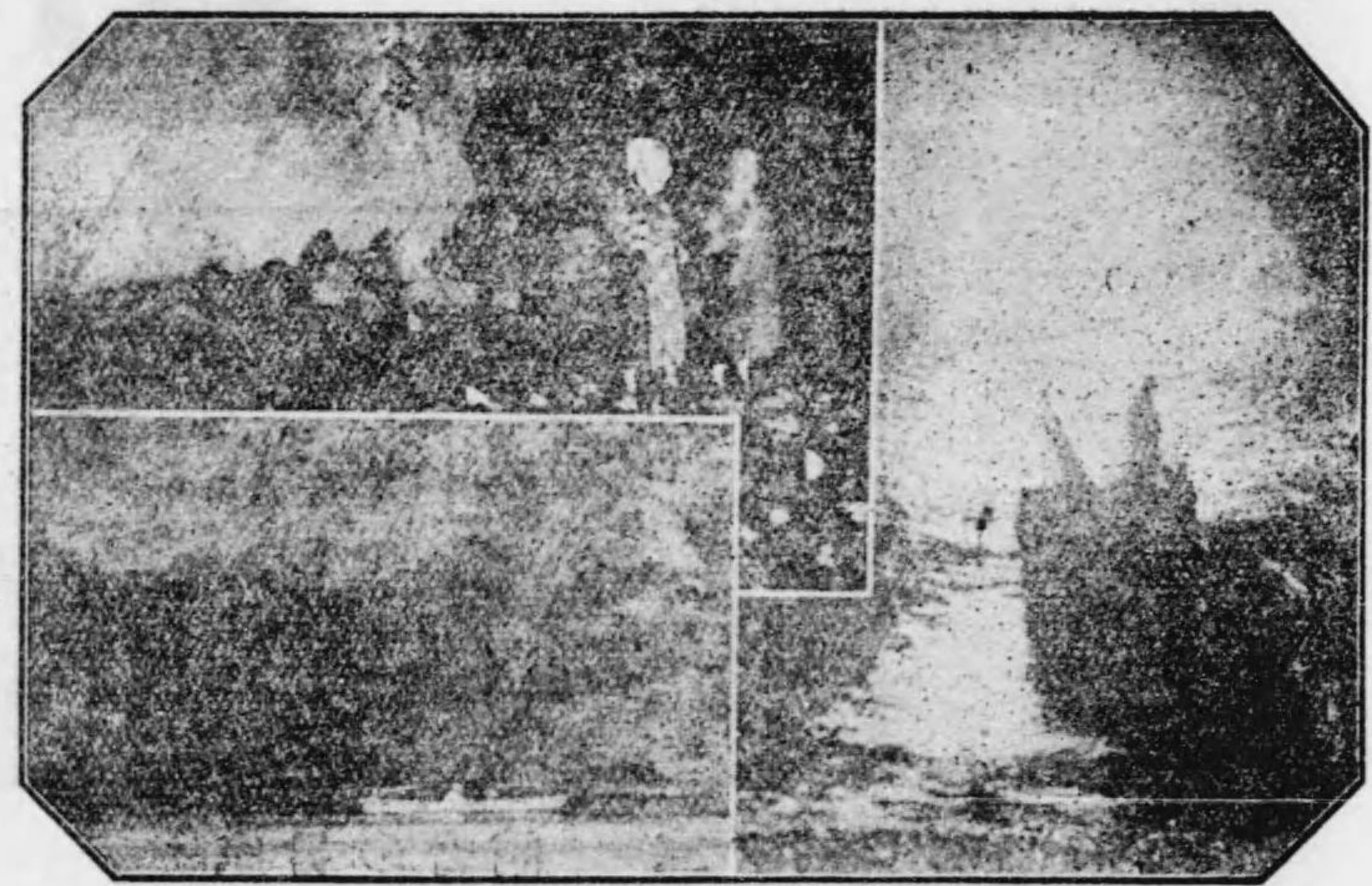
崎ヶ龍 峭奇の鹿男



瀧糸白と嶋臺舞

現代の秋田 終

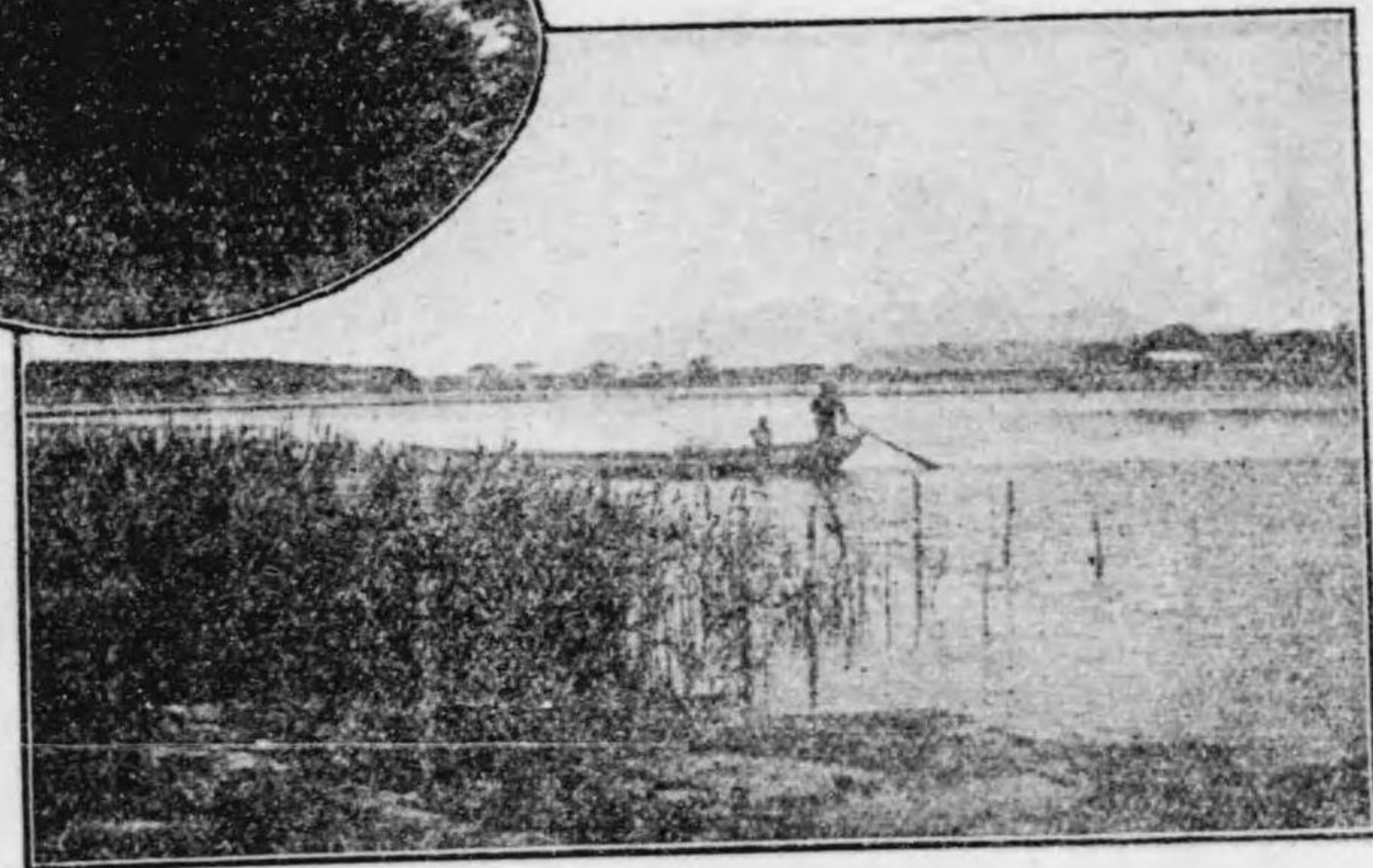
縣よりするを表口と稱す矢嶋路を裏口と稱す「有耶無耶の關」は關村にあり「三崎峠」は縣境にて戊辰の戰場地たり上濱地方一帶の海岸は男鹿半嶋の奇峭と相對して詩韵の横溢するを以て稱せらる。



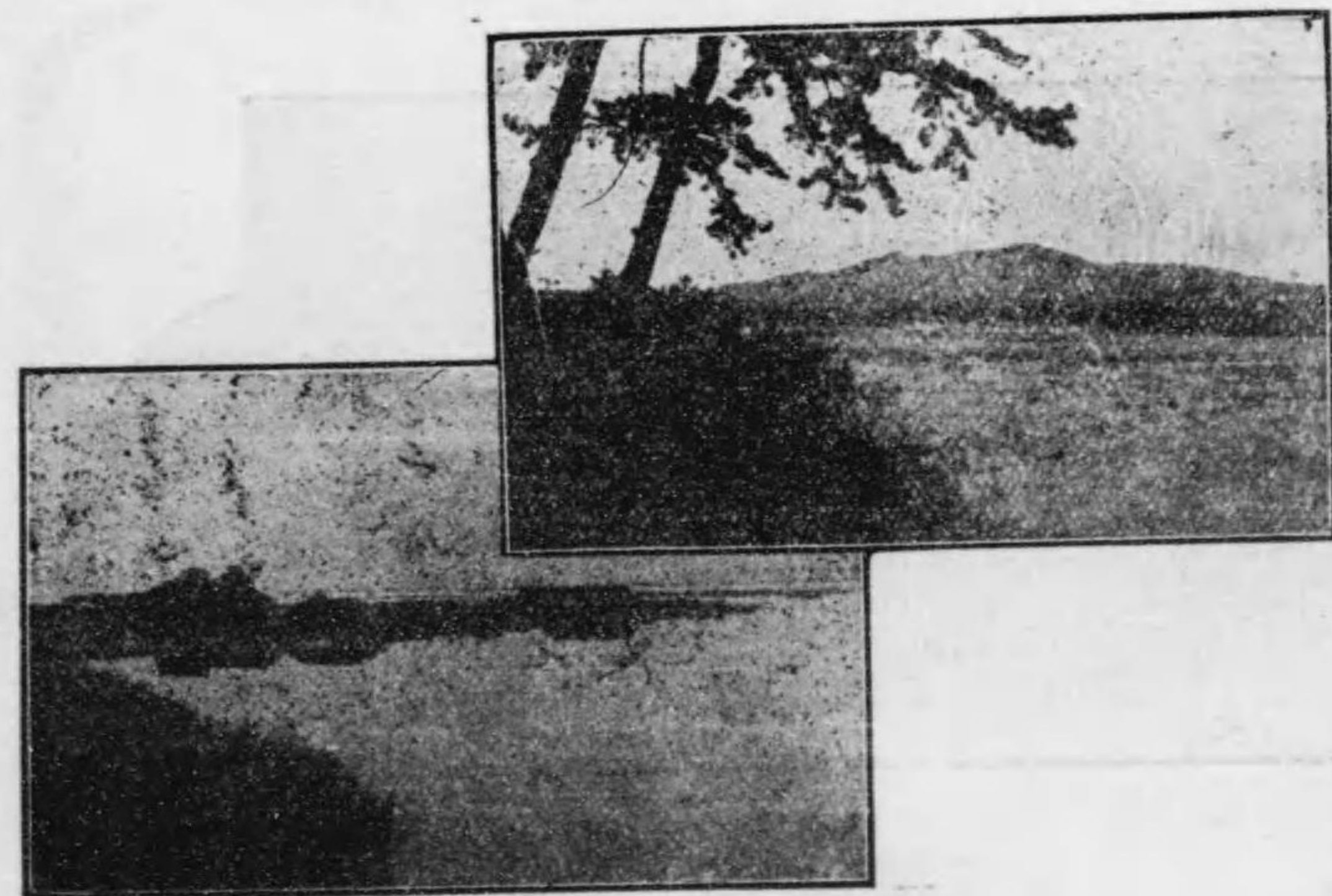
窟 鹿 男



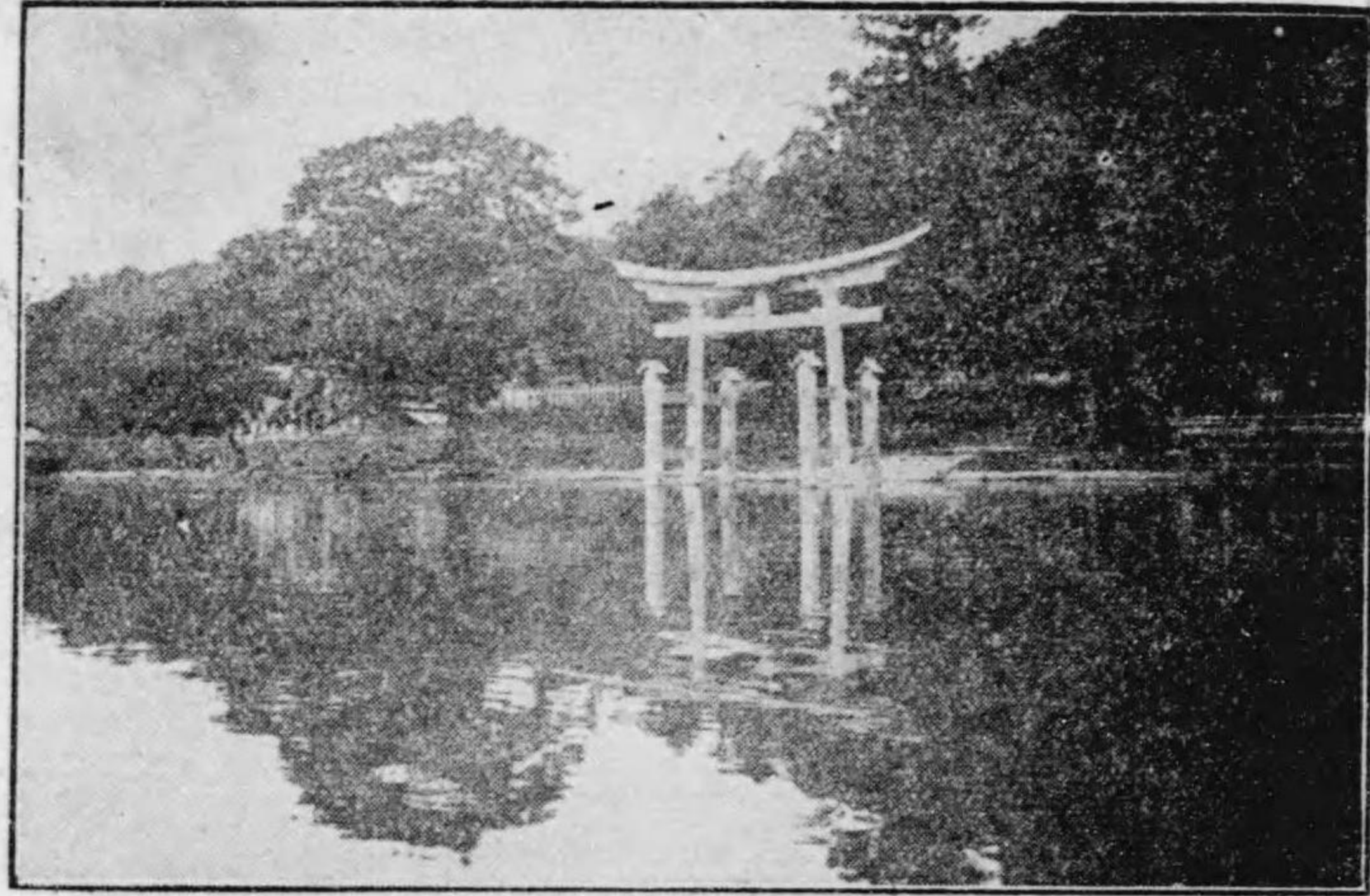
橋 棧 大 鹿 男



望 遠 山 本 り よ 湖 郎 八



望 遠 山 風 寒 同



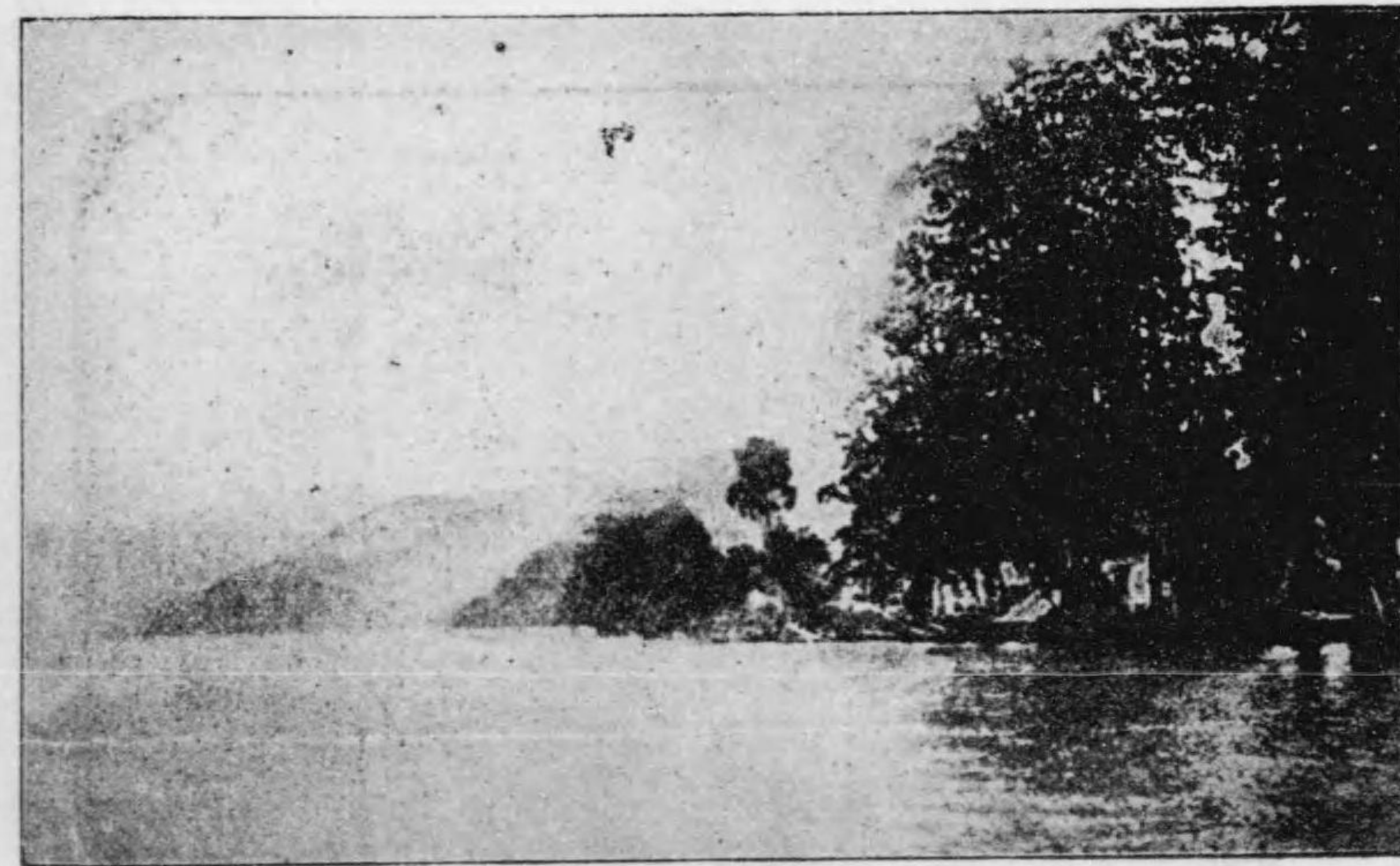
社神石座御 湖澤田



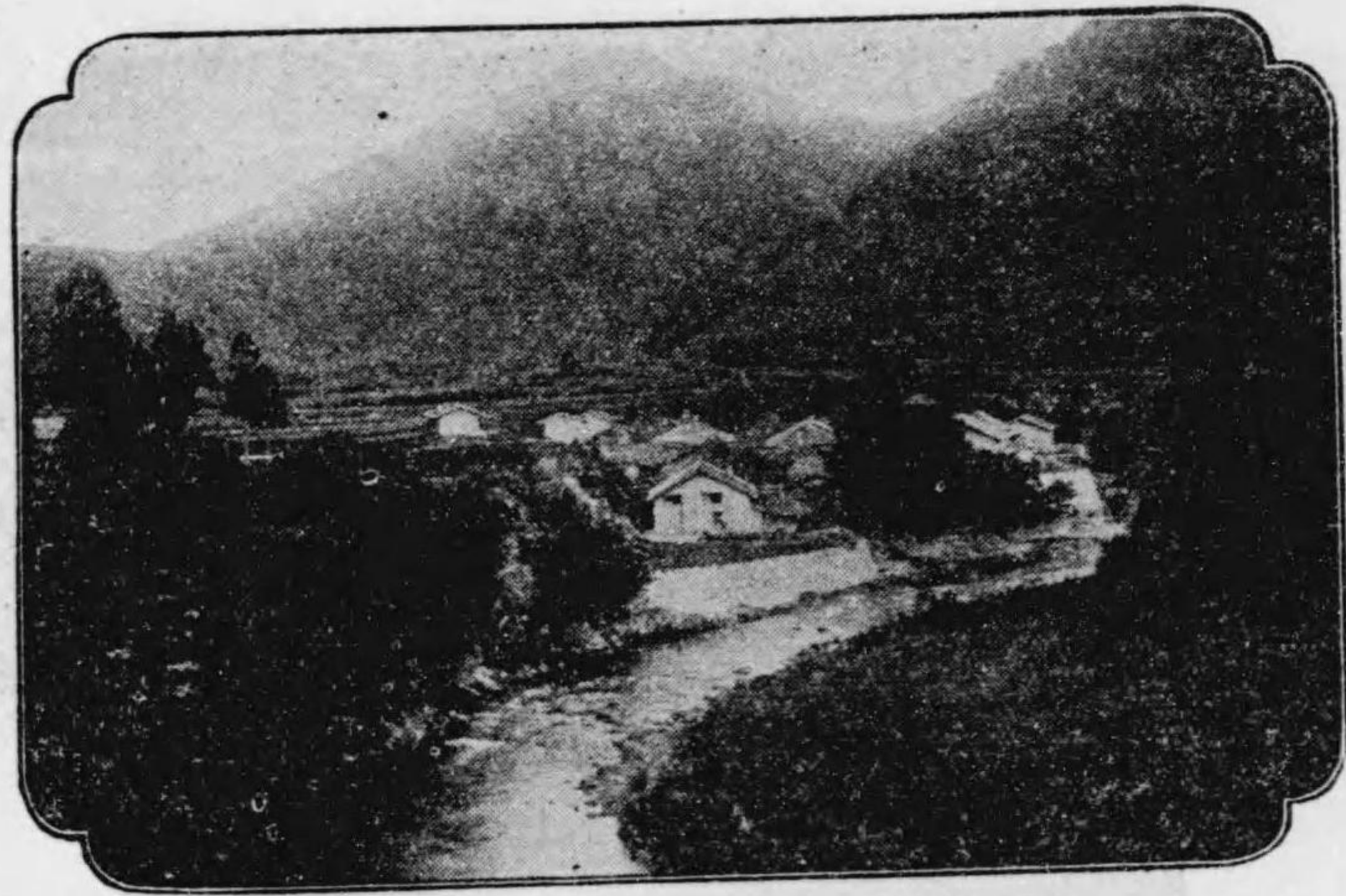
岬 姫 湖澤田



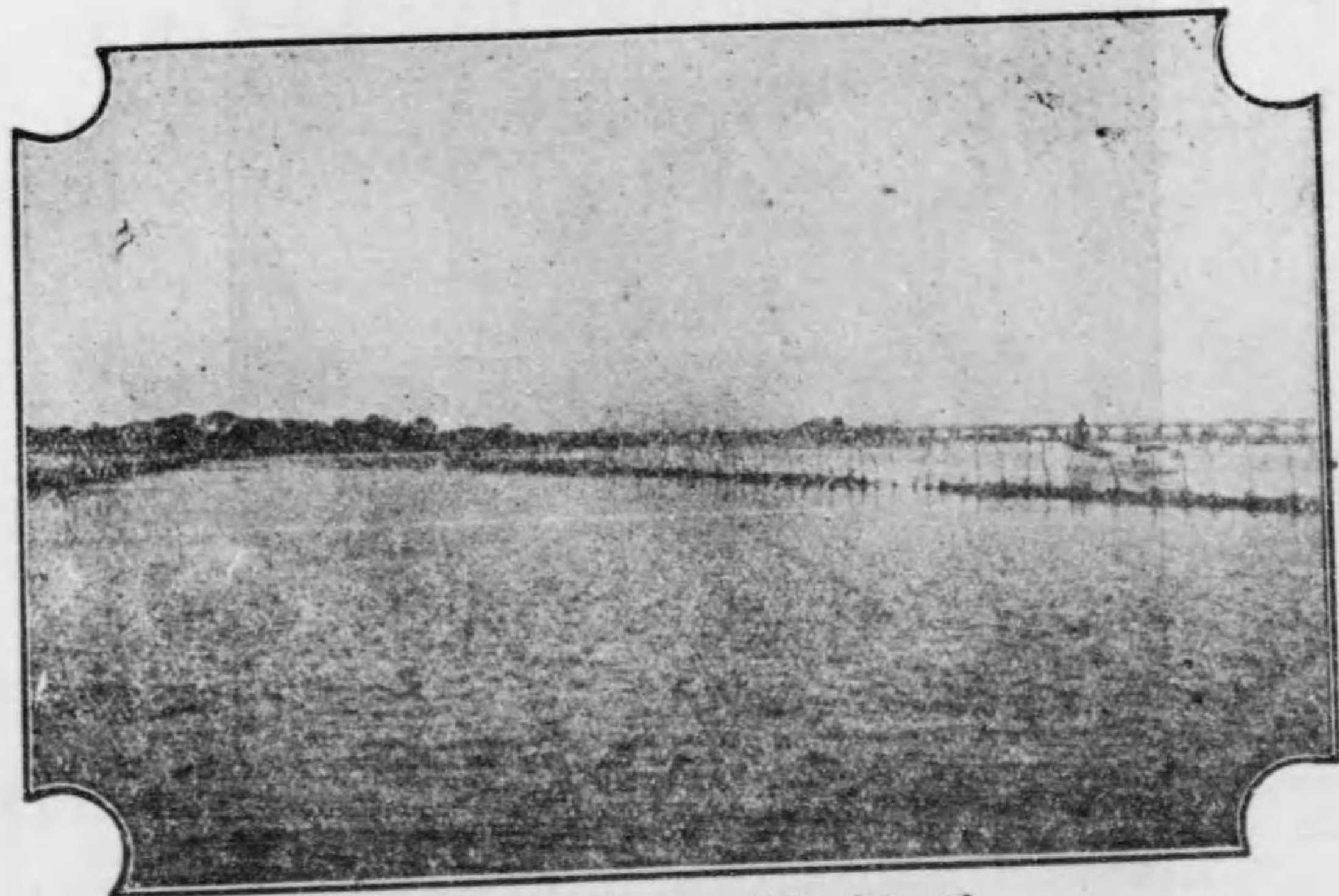
崎瀬潮と崎ヶ立 峭奇の男鹿



堂神瀧 湖澤田

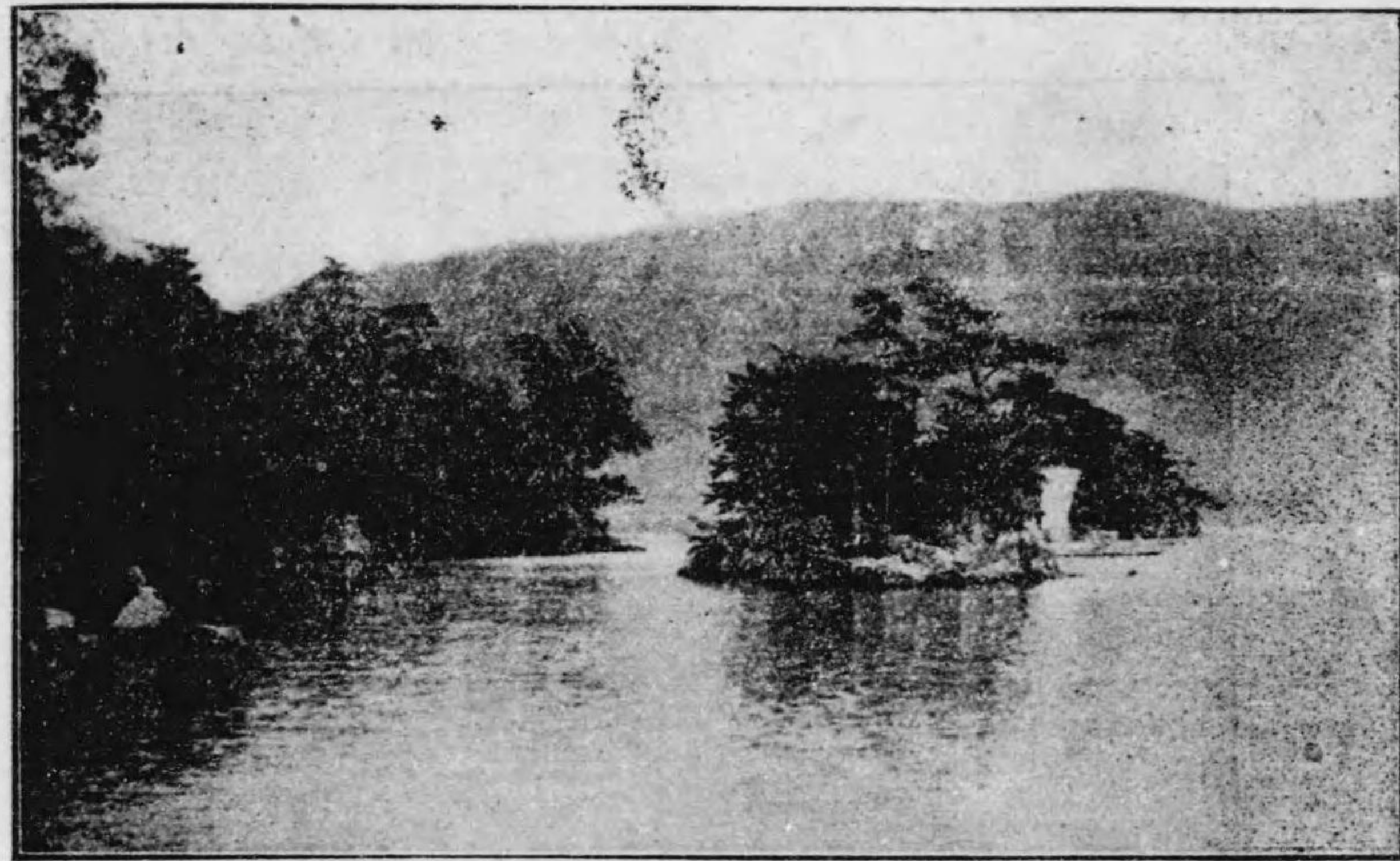


鹿角郡湯瀨温泉



八郎湖の張切網

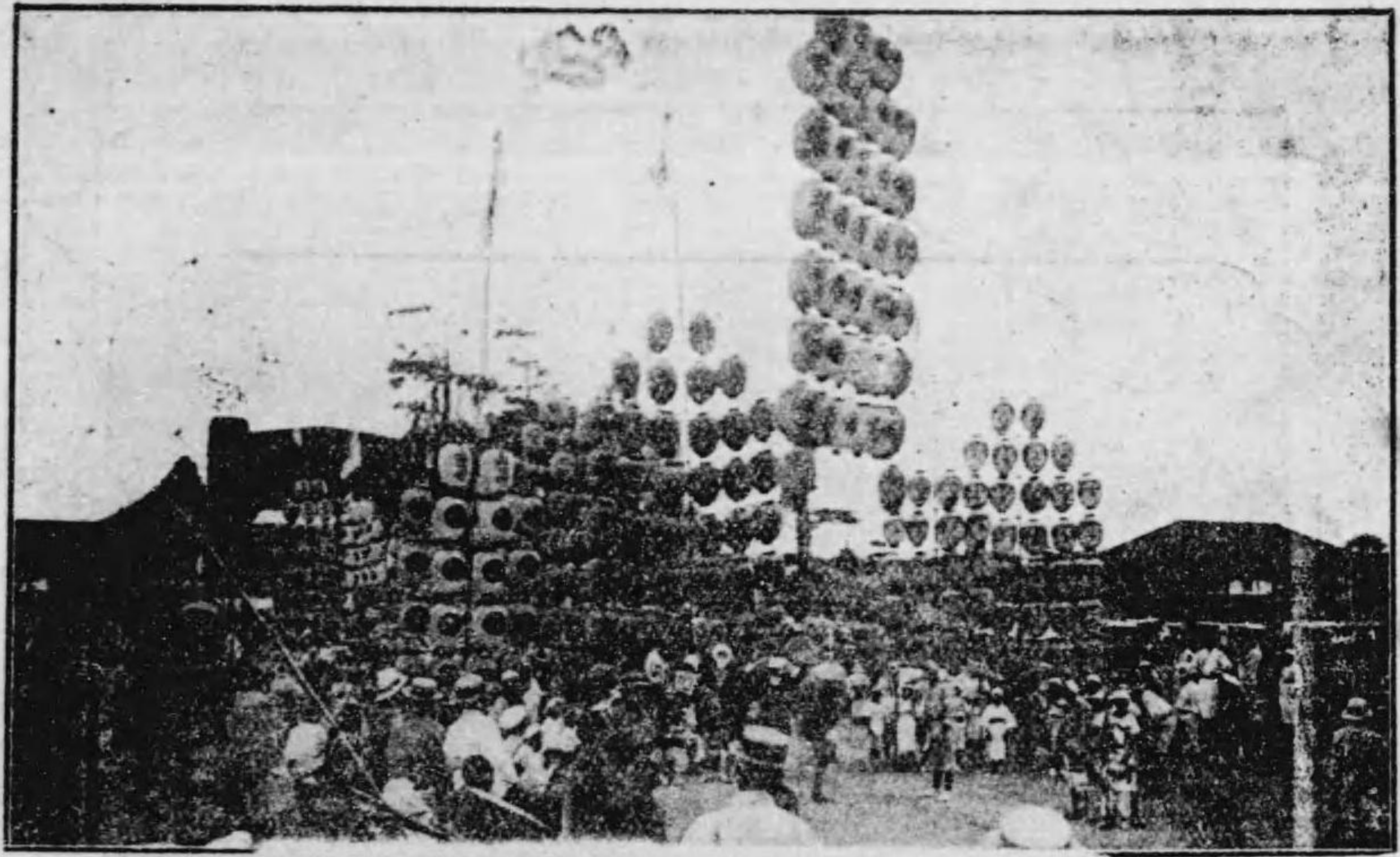
峠逢湯和十



同

江の籠自

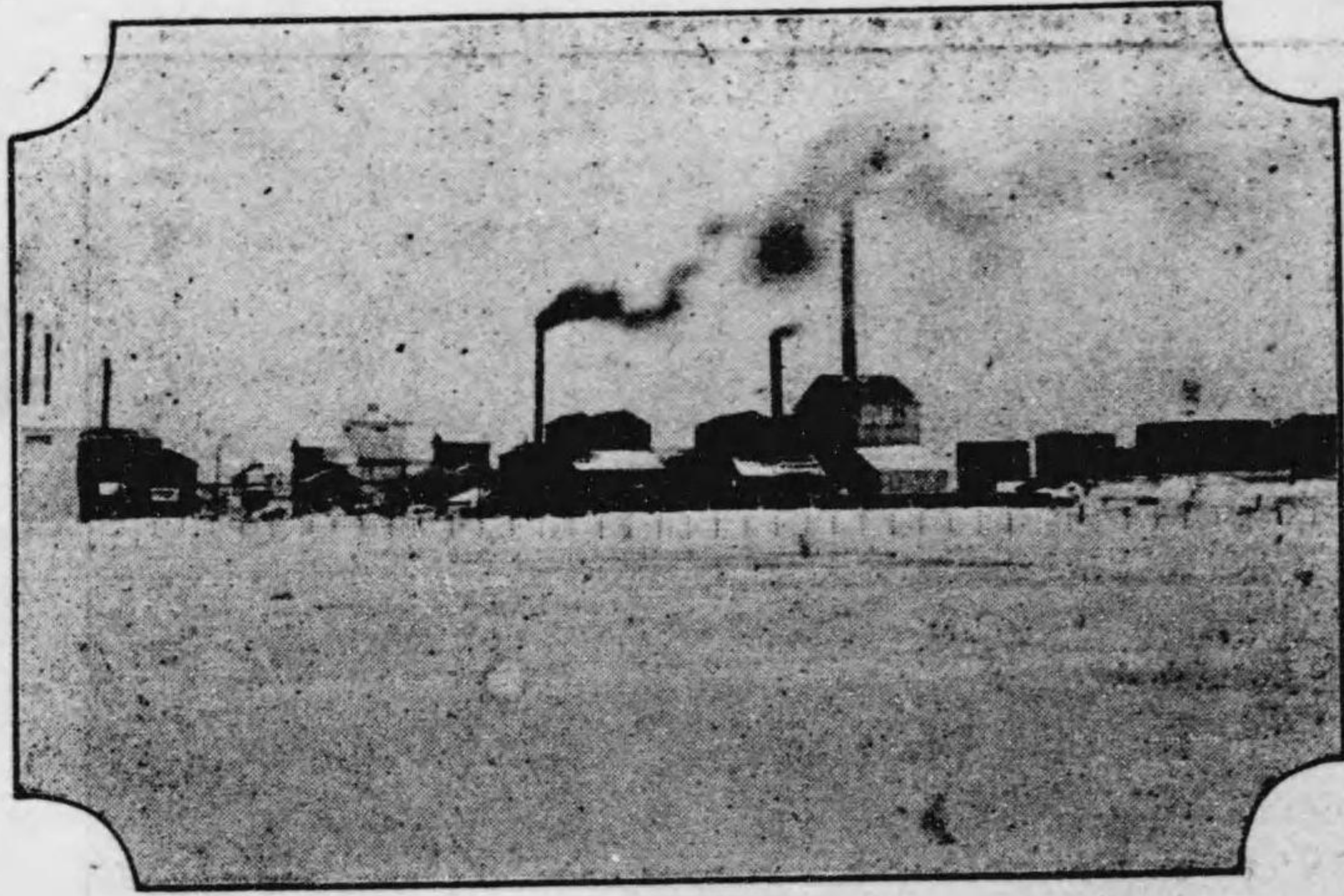




秋田市名物 竿燈(ねぶりながし)



落と美人



資本金二千萬圓

創立明治二十一年

種各物産副  油石印蝠蝠

日本石油株式會社

東京市丸ノ内本社營業課  
東京京橋本材木町三丁目東京販賣店

電話京橋(特長)一〇番

大阪市北區中ノ嶋六丁目大阪販賣店

電話オサ

電話(長)三四四番三五四番

下ノ關市岬ノ町下關販賣店

電話ニホ電話特六五六番

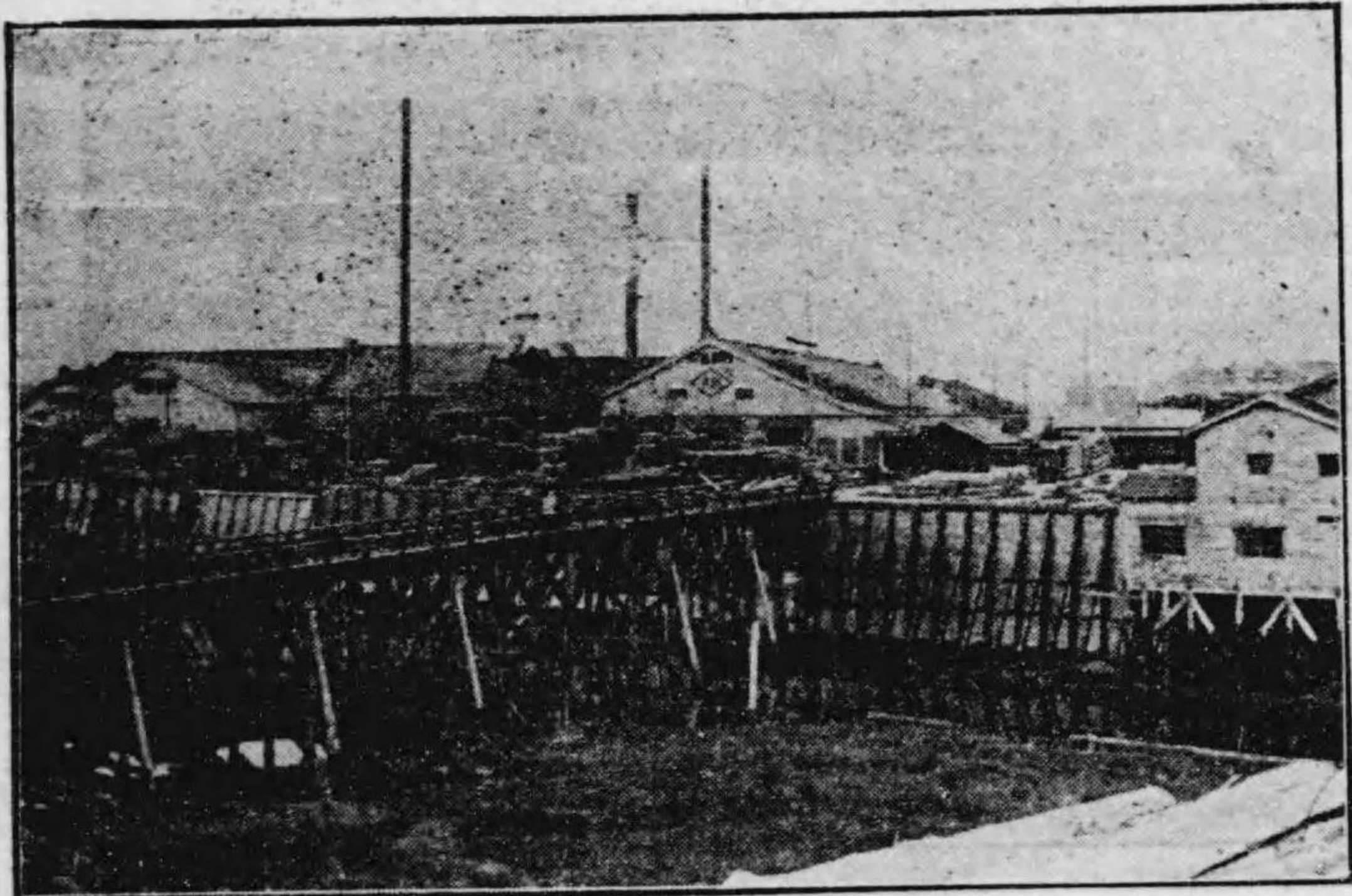
秋田縣土崎町大濱秋田製油所

電話アセ電話四〇

北海道輕川驛北海道製油所

電話ホセ

資本金貳百萬圓 積立金四十一萬五千圓



營業 木材業、機械製作、電氣、瓦斯  
科目 植林、牧畜、運送等

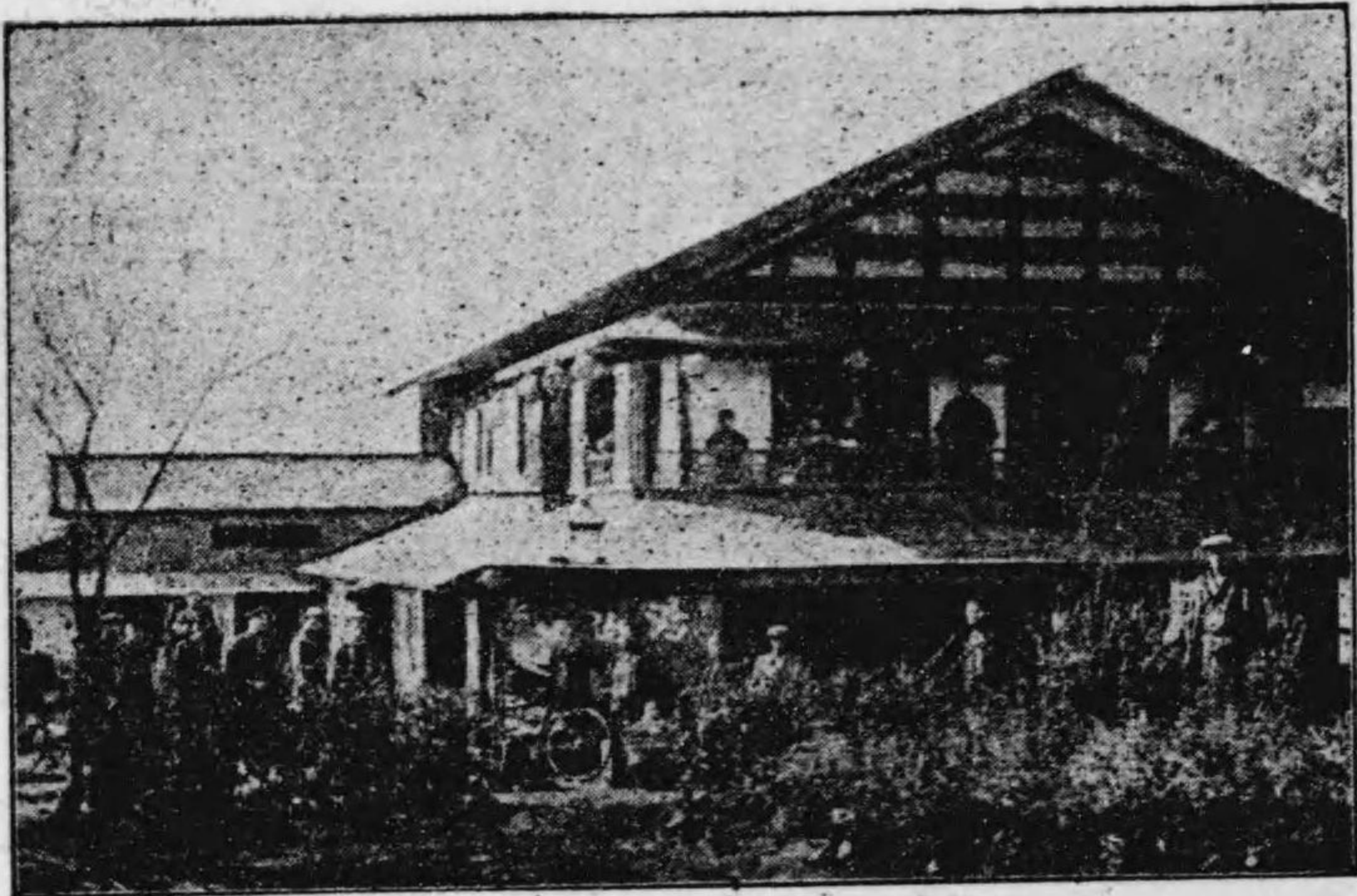
秋田縣代能港町 電話三番(振替)東京八二八四  
電略アモ(貯金)大坂八四〇二



秋田木材株式會社

支店(秋田出張所)東京、名古屋、北見、根室  
大坂(販賣所)小樽

湯治館の景



御料理  
きそば

秋田市川反五丁目

魚亭

電話六六五番

▲秋田市より僅か五町にして道路完全なり  
▲遠近の眺望絶佳にて理想的客室數多あり

秋田市外川尻村字御休み

諸病即効  
靈鐵泉

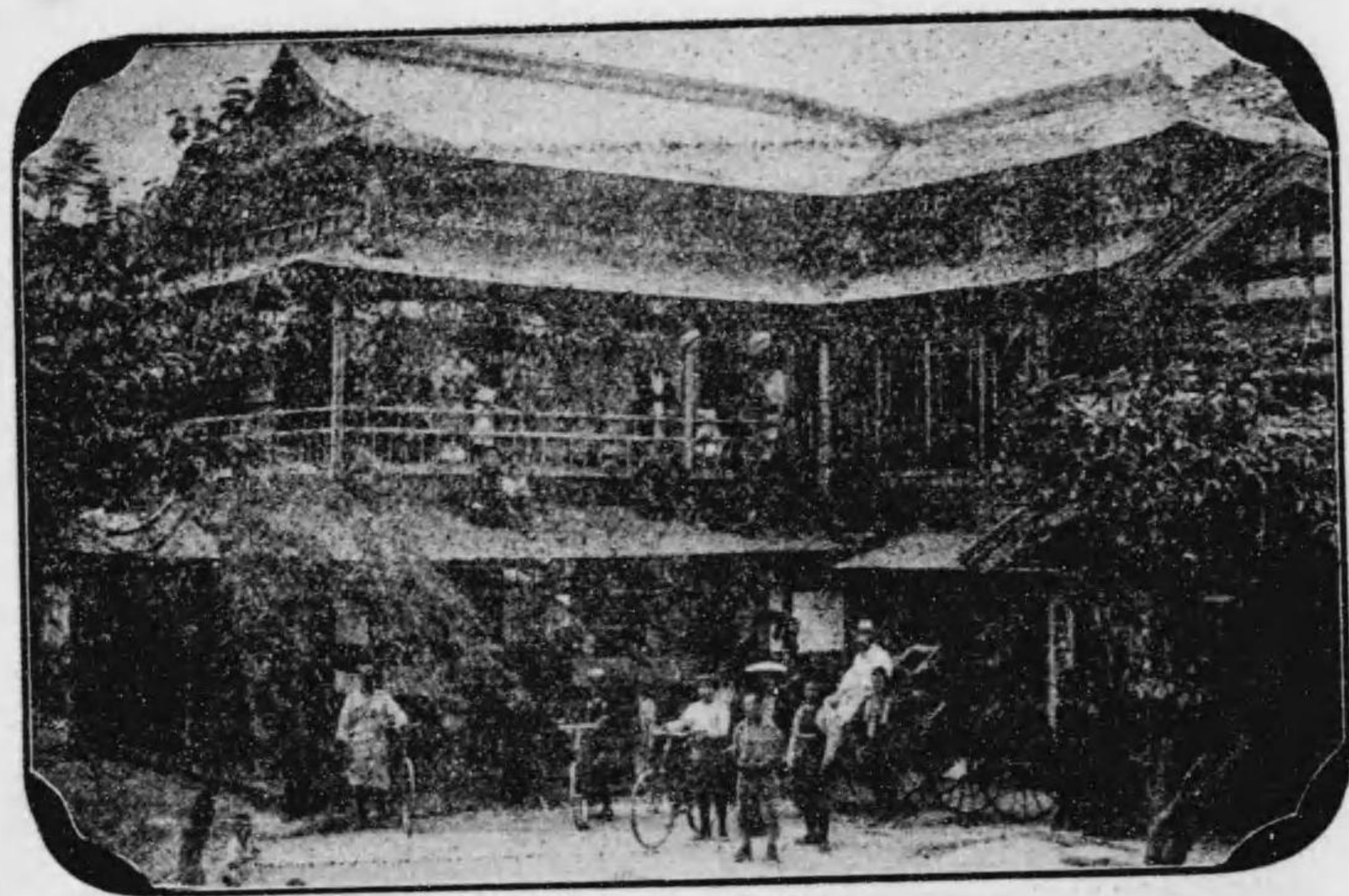
湯治館

御下宿屋

▲御客様の御望みに依り自炊は御勝手なり  
▲尙御需要に依り最も手軽な御料理調進す

能登 利吉

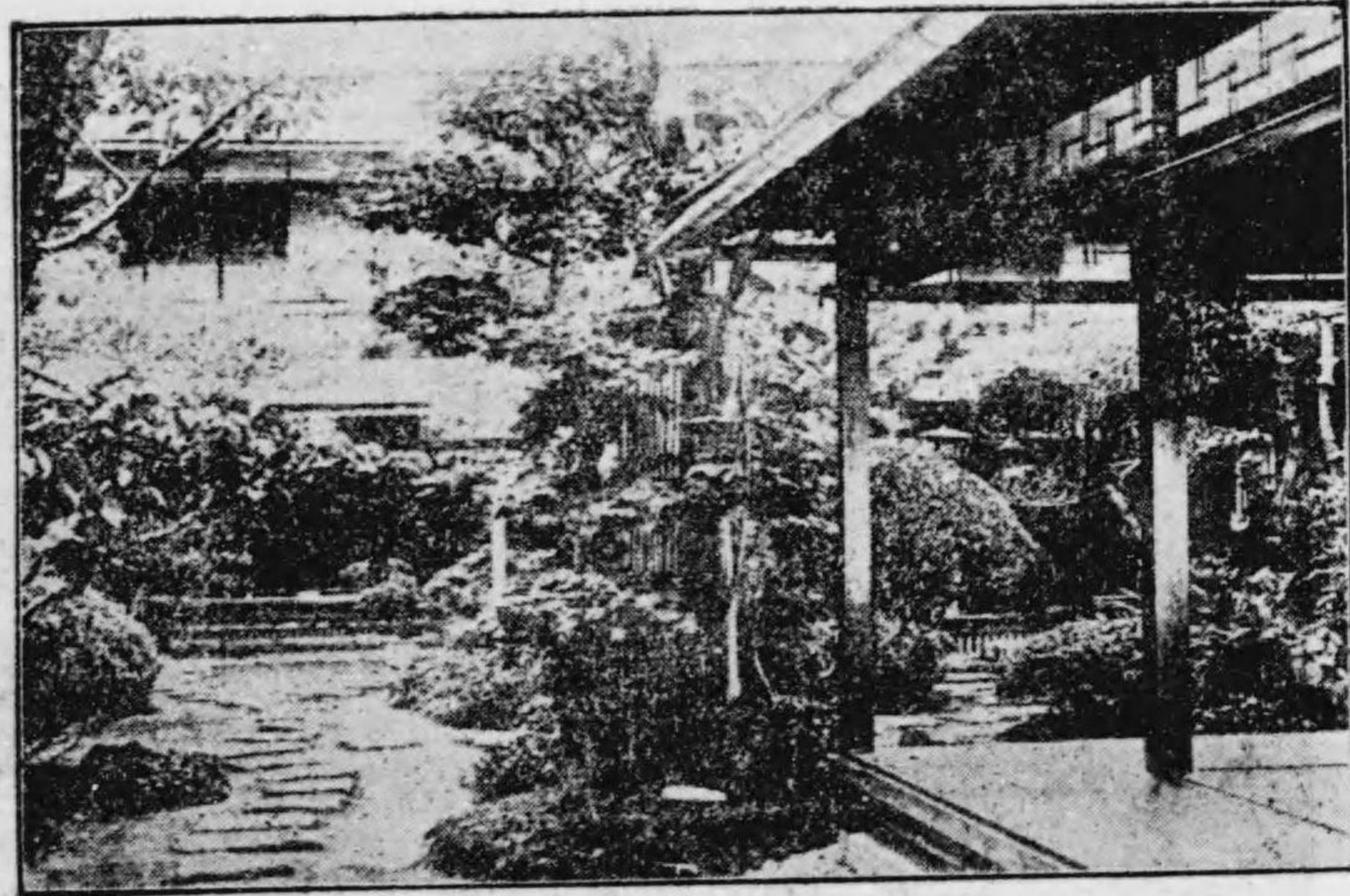




秋田縣南秋田郡船川港町金川

諸井旅館

- ▲土地高燥 ▲空氣清淨
- ▲眺望曠濶 ▲調理新鮮
- ▲羽立驛より十二丁にして築港迄八丁
- ▲島巡りには特に遊覽船の設備あり
- ▲修學旅行團には宿泊料の割引をなし百名迄収容  
することを得
- ▲新築の二階座敷よりは眺望絶佳を極む



御料料理

魚金

岡崎金治

電話二一二番



久  
菅原久治郎

秋田縣南秋田郡大久保村

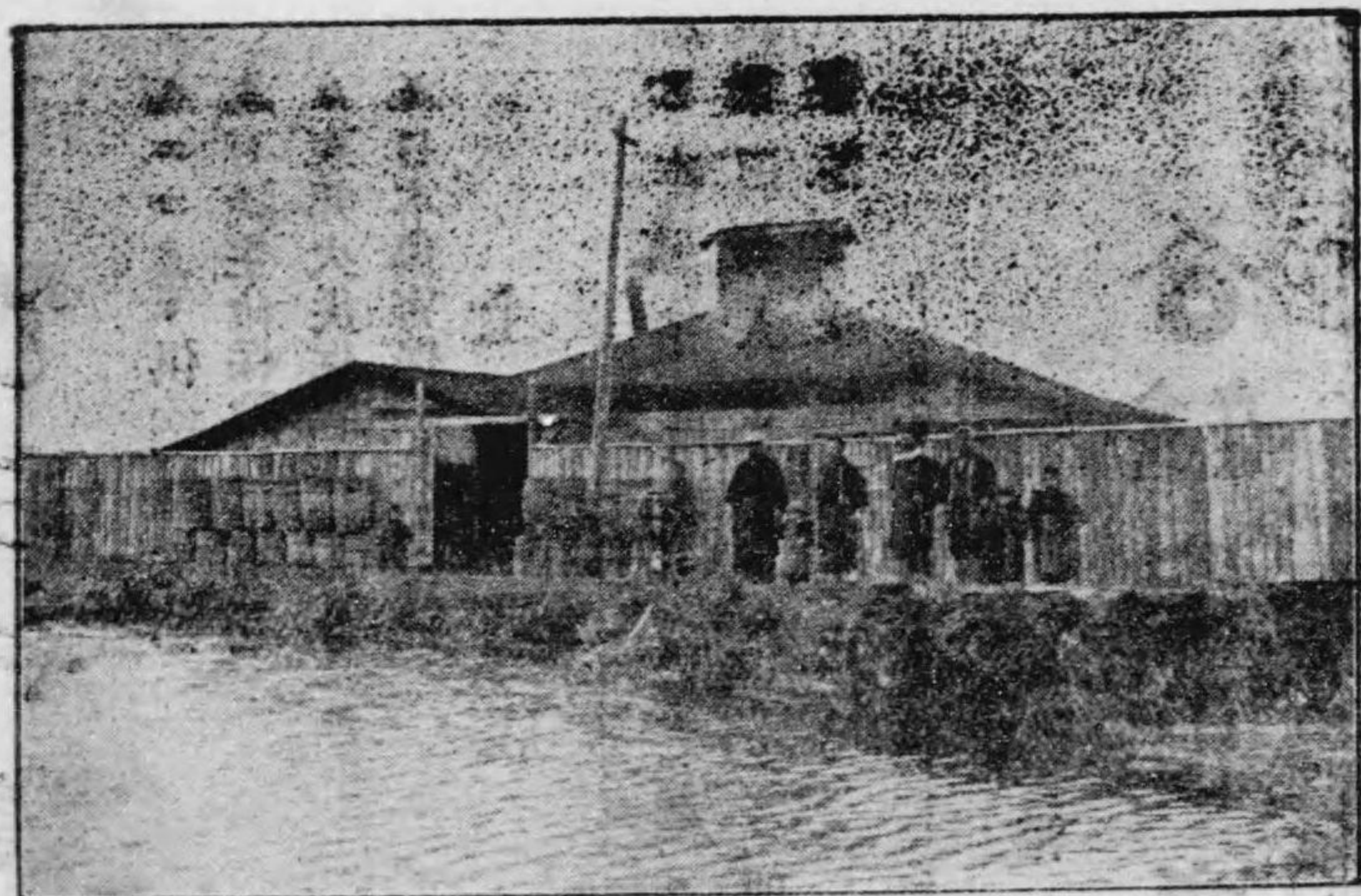
酒銘  
壺の井



酒銘  
壺  
年

秋田縣南秋田郡五城目町

釀造元 米田作之助



種各  
アスファルト  
土瀝青

製造販賣  
屋根塗料

秋田縣南秋田郡大久保驛前

**永井金太郎商店**

話略(ナカイ)又ハ(ナ)  
振替口座東京 三九六番

南秋田郡飯田川村下虻川上谷地

營業品豊富にして價格は低廉に  
品質を撰良し取扱は迅速なり

弊店は東京、大阪、博多、臺灣、北  
海道等に確實なる取引店を有し  
製品工事共精々入念製造致し御  
需めに可應候

精製工場

營業方針

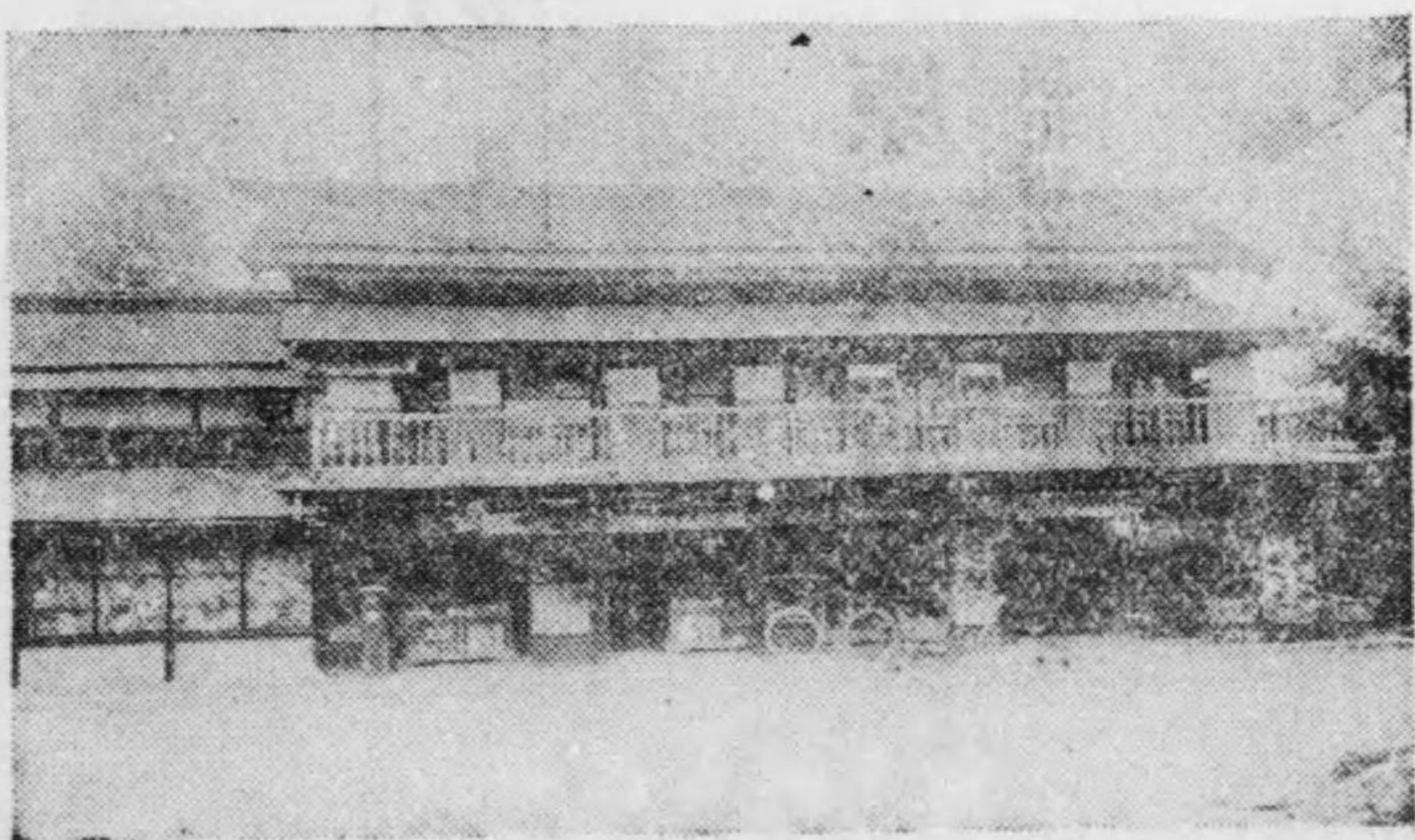
取引店

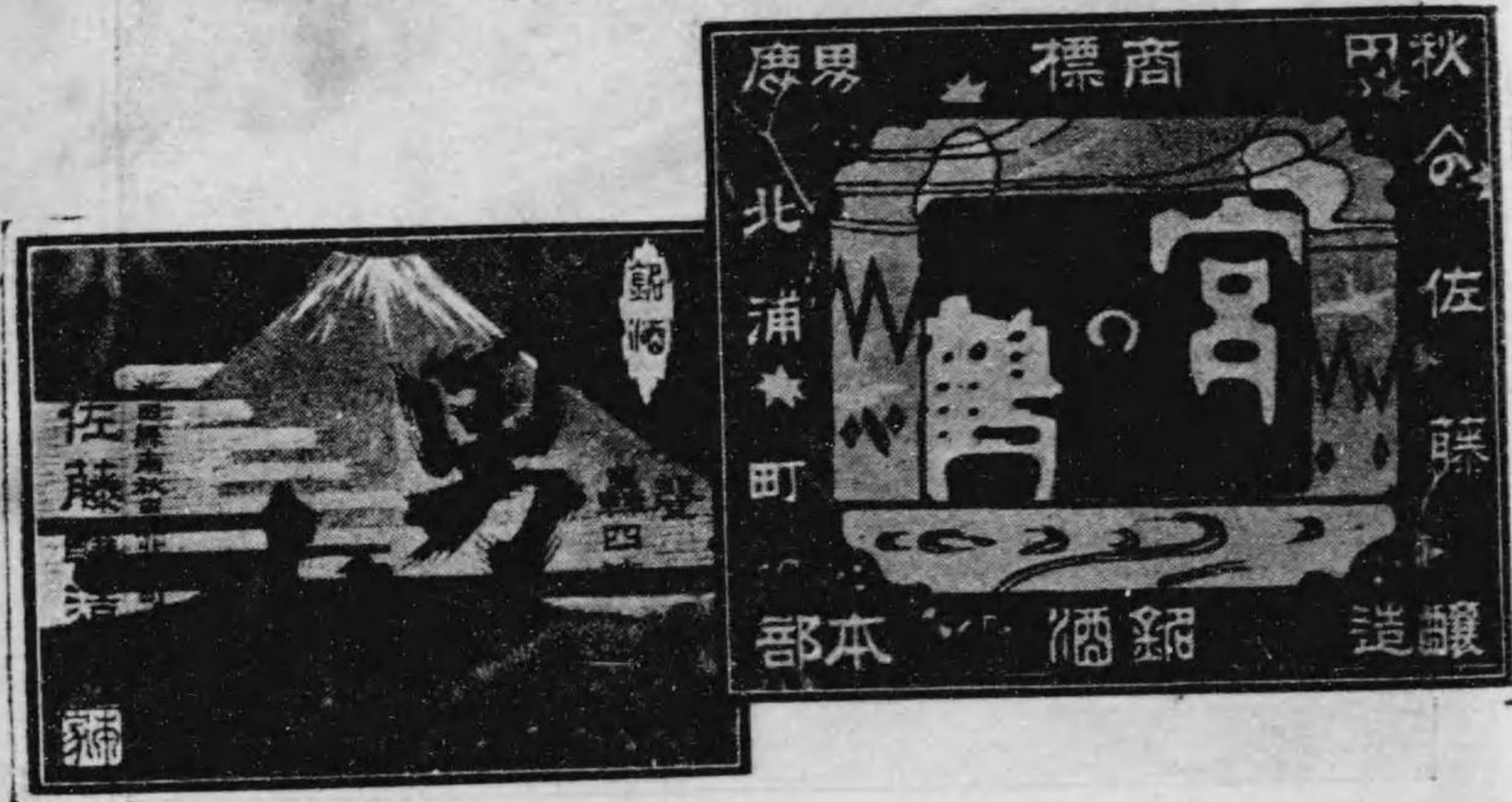
- ▲秋田唯一のデパートメントストア式
- ▲東北無二の高等呉服 太服
- ▲裏日本稀有の高等洋貨雜貨
- ▲東京に行かずして現代の流に後れず
- ▲地方に在りて優越精良の物品を購求し得
- ▲關東地第一の公園に來觀せらるる各位は附
- ▲近に位置を占むる弊店に是非御立寄あらん
- ▲ことを請ふ

秋田市土手長町

**新田目本店**

電話(四一三)四七  
振替一三五三二





酒 銘  
 宮の鶴  
 男 山 釀造元  
 男鹿北浦町  
 佐藤新英

しちや業

- ▲ニコく俱樂部支部
- ▲有隣生命保険株式會社
- ▲東邦火災保險株式會社
- ▲日本傷害保險株式會社

土崎代理店

日本男子と ヤマザクラ  
 秋田美人と ヤマザクラ印  
 醤油と味噌醸造元は

土崎港

合名 柴忠商店  
 會社

振替口座一〇九六七番  
 電話五番 電略(シ)





營業品目

內外雜貨文具一式  
婦人小間物化粧品類  
帽子洋服附屬品  
食料品罐詰食器銘茶

秋田市西根小屋町上八番地

諸官  
衛御  
用達  
**夕**  
**新田目金太郎**

電話一九二八七番  
振替三百十八番

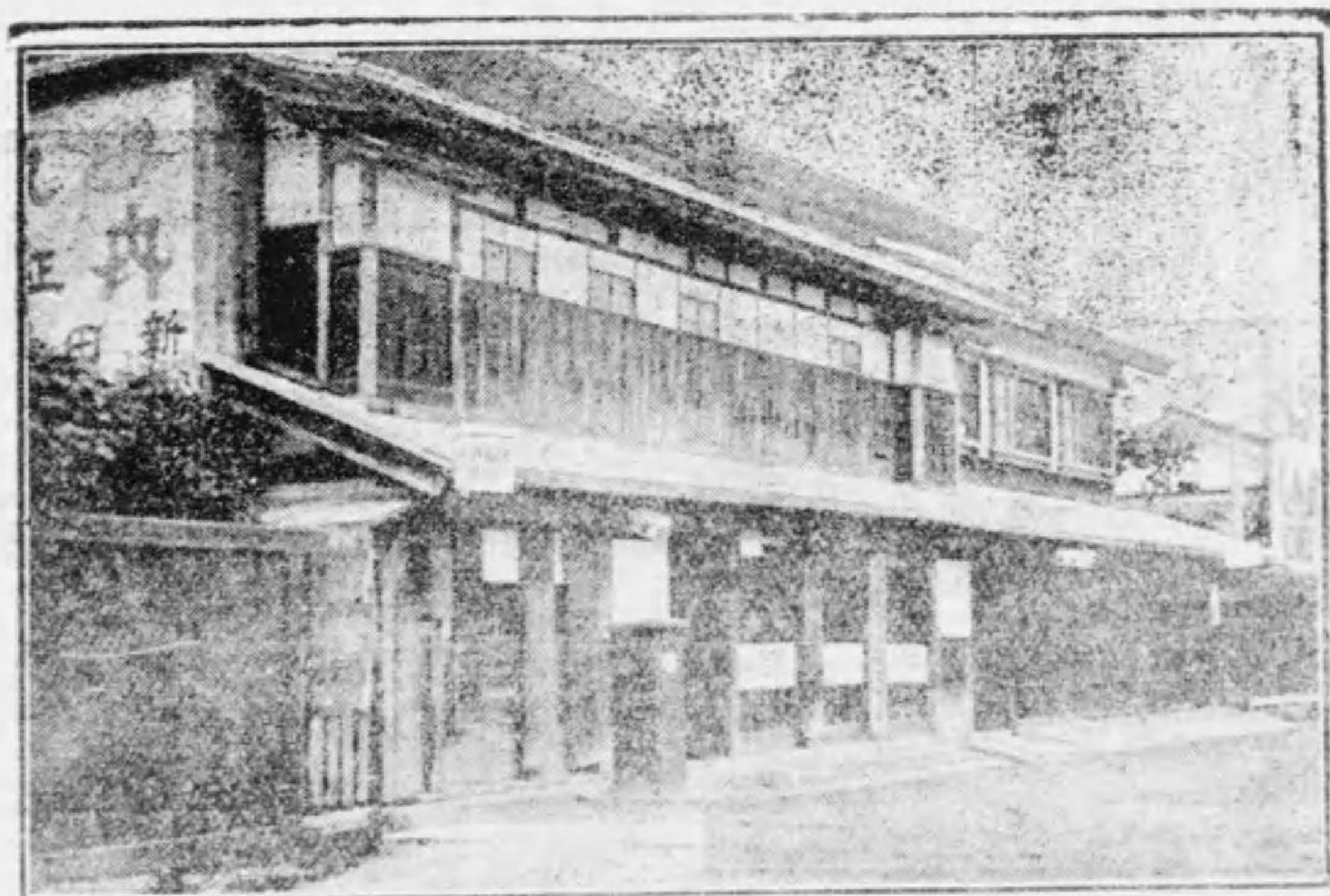
擊劍銃槍防具柔道衣  
測量製圖度量衡器  
和洋音樂器運動器具  
理化學器械造花材料

資本金 拾萬圓  
積立金 七萬五千圓

秋田縣船川港町

合名  
會社  
**澤木銀行**

北浦支店  
五城目支店  
松越出張所



目 品 業 營

内外雜貨文具一式  
婦人小間物化粧品類  
帽子洋服附屬品  
食料品罐詰食器銘茶

秋田市西根小屋町上八番地

諸官  
衛御  
用達  
**夕**  
**新田目金太郎**

電話一九二八七番  
振替三百十八番

擊劍銃槍防具柔道衣  
測量製圖度量衡器  
和洋音樂器運動器具  
理化學器械造花材料

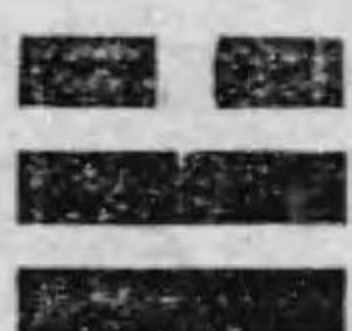
資本金 拾萬圓  
積立金 七萬五千圓

秋田縣船川港町

合 名 會 社  
**澤木銀行**

北 浦 支 店  
五 城 目 支 店  
船 越 出 張 所

秋田縣湯澤町



合資  
會社

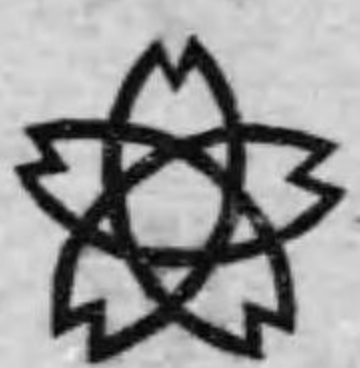
湯澤銀行

電話一三番 電路(ユサ)  
振替口座東京貳參七貳貳番

秋田縣西馬音内町

西馬音内支店

電畧(ユニ)



株式  
會社

秋田縣雄勝郡湯澤町  
雄勝銀行

電話三三番



株式  
會社

秋田縣雄勝郡湯澤町  
雄勝貯蓄銀行

電話三三番

**預金**

定期預金	壹ケ年	五
當座預金	六ケ月	四分五厘
別口當座預金	百圓ニ付	九厘
同	日付	壹錢



株式會社

**安田銀行本莊支店**

電話十四番

**本店**

合名會社

秋田縣平鹿郡植田村  
**植田銀行**

出張所

秋田縣平鹿郡淺舞町  
**淺舞出張所**

●資本金 五拾萬圓  
●諸積立金 拾參萬七千圓

○定期預金 一ケ年以上 年六分五厘

○當座預金 六ケ月以上 年五分五厘

○部乙當座預金 三ケ月以上 年五分

羽後角間川町



株式會社

**平鹿銀行**

(電話十番)

同 六郷支店



秋田縣平鹿郡增田町



株式會社

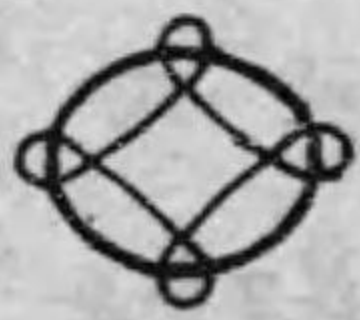
# 增田銀行

電信略語(マ)

頭取	小泉 五兵衛	專務取締役	久米田 正之助
取締役	佐藤 清十郎	取締役	佐藤 與五兵衛
監査役	沓澤 甚兵衛	監査役	千田 彦五郎

合名組織ニシテ社員ハ總テ無限責任ヲ負フ

## 當銀行



合名會社

## 池田銀行

仙北郡刈和野町

銀行一般ノ業務確實懇切ニ取扱可申候

一 資本金 參拾萬圓  
一 積立金 貳萬五千七百貳圓

秋田縣仙北郡大曲町



株式會社

# 仙北銀行

電話 五番

專務取締役 池田文太郎  
支配人 利部正愨

一、資本金壹百萬圓



# 株式會社 秋田銀行

秋田市大町三丁目  
電話 一〇〇番 四三三番  
振替口座東京第一〇二番

一、資本金壹百萬圓



株式會社

第四十八銀行

秋田市茶町菊之丁  
電話四八番

一、資本金壹千萬圓



株式會社

安田銀行秋田支店

秋田市本町四丁目

電話三番

◎不動產抵當貸付



株式會社

# 秋田農工銀行

秋田市大町二丁目  
電話 七番

明治三十三年設立

## 資本金壹百萬圓

本店 東京市神田區千代田町二九番地

株式會社

## 共榮貯金銀行秋田支店

秋田市茶町扇の丁三十一番地

利益配當附の貯金  
現想的の金融機關

代理店

能

電話 二二二二番  
振替東京一〇四四番

代、

横手、

營業課目

諸公債有價證券の賣買  
有價證券擔保貸付  
國債簡易販賣  
國債社債並に市町村債  
の引受及其仲介

◀ 資本金六拾萬圓 ▶  
◀ 契約高壹千圓萬圓 ▶



東京日本橋區本材河岸  
東京國債株式會社

秋田市本町四丁目

同 秋田支部

普通銀行  
一般の業  
務を取扱  
申候



株式會社

東京國債銀行

秋田支店

本店 東京市日本橋區本材河岸六十九號地

支店 秋田市本町四丁目十五番地

出張所 鹿角郡毛馬内町、北秋阿仁合町



合名會社

五業銀行

明治四年五月設立  
羽後横手大町  
電信零號(五)電話番號十番  
郵便振替口座東京三二九六番

資本金 二萬五千圓

秋田縣由利郡矢嶋町

矢嶋水力電氣株式會社

取締役社長

今野禎吉

技師長

諸星宗輔

土木  
建築

請負業

秋田市城町

堀井 永助

電話四四九番

製材及精米  
北海道材各種  
土木建築請負



合資  
會社

秋田市龜ノ丁虎ノ口新町

進藤挽材精米工場

電話二〇八番



木材各種製材販賣

商 店

秋田市龜ノ町外張南新町

店主 高橋 太惣治

電話 八番  
電器アア(又は)ア

日本石油會社櫓材御用

諸材製板  
販賣建築  
材料一式



秋田市外川尻

齊藤製材工場

場主 齊藤 吉郎  
電話二一六番

木材買賣  
製材販賣



秋田市中川口  
小林金之助  
小林製材所

電話二四〇番

木材買賣  
誠實勉強



秋田市中川口三十三番地  
鈴木勘左衛門

電話二六一番

木材買賣  
物品販賣



秋田市中川口三十六番地  
齊藤合資會社

電話一〇二番  
電路(ヤマタ)

製材品丸太  
各種販賣



賣場出張所秋田市中川口  
鎌田商店

本店 秋田市茶町菊ノ丁  
電話二二番



土木建築  
請負業



南秋田郡川尻村

小川

善治  
(電略ヲカワ)

▲眺望絶佳納涼の最好適地▼

即席  
御料理



小川

キン

南秋田郡川尻村新川橋脇

▲秋田監獄  
御用達 差入物品委託所

電略(ヲキ)

煉瓦土管瓦  
製造販賣  
土木請負業  
製産品運送



南秋田郡川尻村新川  
瀨谷第一工場  
同郡寺内村  
瀨谷第二工場  
主任相原仁市郎

瀨谷

健藏  
電話五一四番

河邊郡仁井田村  
瀨谷第三工場  
主任戸澤銀治



南秋田郡川尻村  
運送組合荷馬車取扱所  
主任田口勝治

日本石油社會 其他石油社會  
 櫓材・建物・木材一切  
 用達商

秋田市  
 上川口町



電話  
 略一七四  
 一ノ夕

野田商店

秋田市場酒町

平澤商店側



高橋時計店

電話(カ)又(タ)

雜貨  
 金物  
 商



合名  
 會社

秋田市馬口勞町  
 平澤

商店  
 電話七五番

鐵道院御指定

秋田停車場前

關根旅館

電話六十三番

▲構内雜貨辨當販賣▼

染木綿製造卸商  
大同藍株式會社特約販賣店



秋田市手形谷地町  
本莊染物製造合資會社

電話百十六番  
電信略號(ホン)

染物製造業



秋田市川端二丁目

工藤幸吉

各博覽會  
數回受賞  
會共進會

國產岩見砥石一手販賣

野州產石灰特約販賣

淺野セメント特約販賣

コ—ルタル及塗料一式 秋田市下鍛冶町角

國產蕨粉問屋  
佐藤金五郎商店

鍋釜鐵瓶鑄物一式 電信略語(サ)又ハ(サキン)

亞鉛引平板針金洋釘

茶紙砂糖食鹽雜貨

紐育スタンダード石油特約店  
オイル會社

電話百十八番

▲弊堂の製作品は嚴密なる監査の上販賣致候故御安心の上御買上奉願候  
▲鐵瓶は特に技術を施したるもの故金氣の出でざる事保證仕候  
▲社寺奉納の神佛具ば弊堂の最も得意とする處に候

秋田鐵瓶

秋田市上鍛冶町川反

青銅器

製造所

金鐘堂

鑄物一切

發賣元

石川友吉

▲意匠着色技術は古式に基き時世に適する様相勉め申候  
▲名入紀念贈呈品其他御注文品は御好次第迅速丁寧に調進仕候  
▲雛型圖案見積等は御一報次第調製御送り可申候

吸入瓦斯發動機  
石油發動機  
南式精麥米機  
精米機各種

秋田市登町

南辨次郎

木工機械

其他諸機械製作

並ニ修繕一切

ラフベ

ツニン

クスキ

塗請負業

看板調製

全最上榮藏

秋田市本町六丁目

陸軍御用達

米穀 正一 白鶴 山加 大加 甲斐 罐詰 最上 大阪 味淋 特約

伊藤東吉

秋田市馬口勞町

電話 二七〇番

營業種目

茶道具一式 銅鐵鍋釜一式 美術類花瓶 鐵瓶一式 美術火鉢類 食用器具類其他 世帯道具一式

忠川村久吉

秋田市上鍛冶町十一番地

賜 日本大博覽會名譽銀牌 名古屋共進會有效銅牌 與羽聯合共進會褒賞數回 國產銅鐵器一式製造發賣元 玉鼎堂主

會進共會覽博各於  
領受牌賞効有

標商錄登



正壽

萬打刃物  
農工具一式

祖元 煎餅型製菓用器具類

秋田市上鍛冶町角

目畧品製

製造發賣  
大桶 大工 大工 大工  
道道道  
具具具  
下駄屋道  
庖刀小刀  
柚道具一式

人見助之亟工場

前辯大審院判事 會長會 造濶崎

料資學法

法律顧問會

- 法律の實戦を描くは本紙の面目なり……………
- 判例の通俗的縮寫は本紙の異彩なり……………
- 通觀性相看破人心は本紙の特色なり……………
- 講衛生病魔未發防は本紙の妙音なり……………
- 解諸詭察人心機徴は本紙の奇聲なり……………
- 會員は法律上の質問を爲す特權あり……………
- 法學資料は毎月二回十日廿五日發行……………
- 會員には無料配付(會費月五十錢)……………
- 秋田縣秋田市茶町扇ノ丁三十一番地……………
- 電話四一三番振替東京二八二〇七番……………

鐵道貨物取扱店

誠實



迅速

秋田停車場前

秋田三立社

電話一六一番  
電略(〇ホン)

各博覽會  
共進會  
金銀賞牌受領

改良

銘酒



山櫻

釀造元

秋田市本町五丁目



秋田酒造株式會社

電話三七〇番

和洋食御料理

軽便料理  
しるこ餅  
きそば

秋田停車場前  
御休所  
山形屋

東京大阪  
各地新聞  
販賣

秋田市大町一丁目

田口報秋堂

電話四六三番



靴、馬具、毛皮、大鼓  
 雪駄、鼻緒、下駄表  
 爪掛、皮細工一切

秋田市花立町

仁八代仁左工門

電話三四七番

◀ 扱荷店引取ルナ重 ▶

秋田木材株式會社  
 日本石油株式會社  
 寶田石油株式會社  
 秋田精糖組合  
 秋田雜貨商組合

奥羽線秋田驛前

共立運輸店

話電五四番

原鐵運送店  
 天龍運輸株式會社  
 三鱗合資會社  
 山口合名會社  
 明治運送株式會社

御料理  
 生 ば  
 秋 田 市 川 反 五 丁 目  
 明 電 話  
 乃 五 四 六 番

秋田市長町

御料理

秋田俱樂部

電話二〇〇一番

營業種目

製紙、製綿、製墨、原料  
古帳簿類、古銅、鐵屑  
外米空袋、空罐、空箱  
人髮、其他廢品一式

富士製紙會社原料特約

秋田市下鍛冶町十六番地

加和賀源助

電話三一三番

至極閑靜ニシテ

諸官衙及公園並赤十字病院ノ近傍



三ツ谷旅館

秋田市場通町横丁

小山田キエ

秋田市川反五丁目

御料理 大和

電話五一三番

# 券 高田丹治

電話六三九番

銅、鐵、鑄物、打物、諸機械  
並ニ鍋、釜、鐵瓶、諸金物  
製造 販賣業

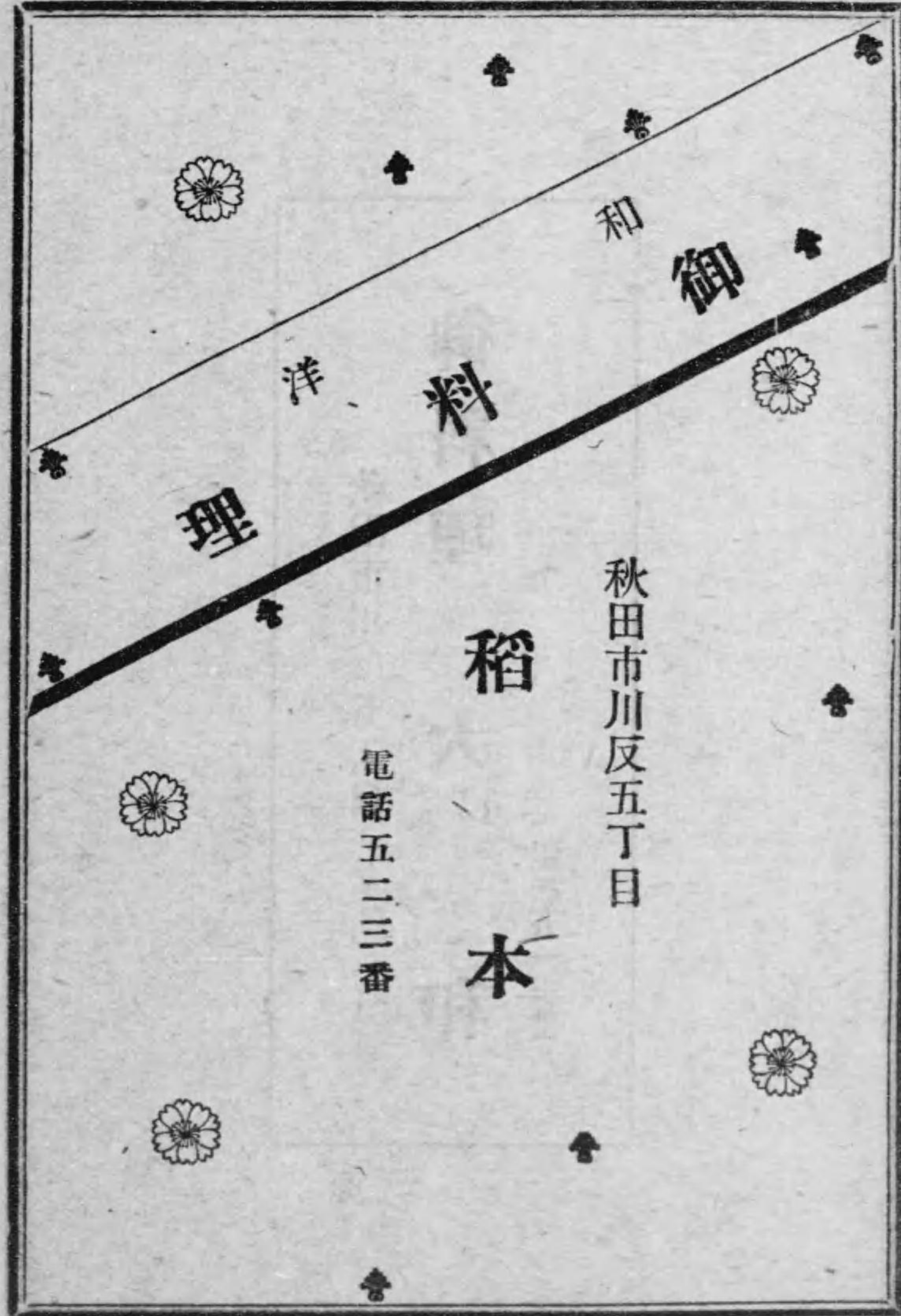
秋田市鍛冶町上川反



# 小室旅館

電話四〇六番

秋田市下着町





秋田市大町一丁目

佐々木旅館

電話三五二番

秋田市大町一丁目

沼田旅館

電話二二四番



清潔 座敷 吟味 品質

出前勉強仕候

龜川洋食店

秋田市川端四丁目

電話五六一番



# 御菓子

衛生的設備完全にて  
蒸汽機罐の設備あり

秋田市四丁目橋角

## 開運堂

電話三三〇番

輕便  
御賄 大勉強



## 小坂旅館

秋田市上通町

電話四〇二番

名産 秋田焼製陶及窯元

## 金子重信堂

國産 秋田藤裏草履製造販賣

## 金子商店

秋田市大工町

金子和吉

## 劇場

秋田市寺町

# 秋田座

座主 白根米助

電話一五七番

自宅電話三三三番

商標



# 源太村膏藥本家

ひかしからのげんだむらのこうやく

弊家調製ノ藥ハ其ノ効驗ノ顯著靈妙ナル  
 コト世既ニ定評アレバ今事新シク喋々ヲ  
 費シマセン近年マデハ來リテ治療ヲ乞フ  
 人ニ限リ用ヒシメマシタガ賣藥トシテ廣  
 ク世人ニ便益ヲ與ヘラレンコトヲ索メラ  
 レル者多クアリマシタカラ去ル明治三十  
 九年始テ發賣スルコト、ナシマシタ抑  
 我源太村膏藥外數種ノ藥ハ弊家醫業ノ祖  
 第一代自圓ガ當時ノ名醫長崎ノ吉田自庵  
 江戸ノ鳥飼道節兩先生ヨリ元祿中傳授セ  
 ラレシ和蘭傳來ノ秘法ニ依ツタモノデア  
 リマス  
 右兩先生自筆ノ文書數通今猶家寶トシテ  
 珍襲シテアリマス之ハ何ニヨリ確カナ直  
 傳ノ證據トナリマセウサレバ當地近傍デ

腫物一切ノ特效藥

傳家 源太村膏藥

癰 根太 風毒 けんびき 打身

耳滴 痔

湯火傷一切ノ良藥

傳家 白玉膏

湯火傷 凍瘡 摩爛 床摺 ひび

水ただれ

傷一切ノ妙藥

傳家 如神膏

切傷 打傷 生爪

瘡類一切ノ良藥

傳家 奇効膏

瘡 疥癬 蚊口 汗瘡

びくさ たむし ひせん

萬能膏

傳家 萬能膏

あかぎり りうまぢし

秋田縣平鹿郡植田村源太左馬字源太

本家慈祥堂

齊

藤

自

圓

敬白

振替口座東京二一六四七番

試藥御入用ノ方ハ郵券二錢封入御一報次第無代進呈致ス可ク候

ハ皆ソノ本家元祖ナルヲ熟知セラレ  
 テアレドモ遠隔ノ地デハ未ダ然ラザルモ  
 ノト見エマシテ「近時他ニテ吉田自庵傳  
 授ノ秘法トシテ發賣スル藥アリ貴家ノモ  
 ノト同一物ナリヤ」ト照會セラレル方モ  
 時ニハアリマスソレハ弊家ノ知ラヌ所デ  
 アレバ固ヨリ同一物デハアリマセン故ニ  
 江湖ノ諸彦決シテナル似而非物ト混視セ  
 ラレザランコトヲ願ヒマス茲ニ謹ンデ稟  
 告致シマス

縣内到所ニ特約店アリ御買ヒ求メノ時  
 ハ齋藤自圓製劑ト御指定ヲ乞フ  
 特約店御希望ノ方ハ御一報願ヒマス

營業種目

火藥  
ダイナマイト  
雷管  
導火線  
獵銃  
其他附屬品一式

秋田市廣小路

秋田火藥銃砲店

電話 二一三番  
振替口座東京二八一四番

仕出勉強致します

秋田市三丁目小路

西洋料理 旭亭

電話四二九番

室内暖爐  
屋根 銅亜鉛引  
スレート

秋田市大町一丁目

山郷恒吉

電話四四七番

常に時代の風尚に伴ふべく諸般の設備に注意し、嶄新なる背景の如きは本館の誇りとする所なり

川村寫真館

秋田市池永小路

高橋盛光

秋田市川反二丁目

拙者ハ養鶏ノ馬鹿者ヲ家禽水禽畜類ニ對スル遺傳  
 質配合學ハ帝國大學農科大學ニ於テ石川理學博士  
 ノ教授ヲ得鶏病學大要ニ對スル一切ハ獸醫學博士  
 仁田先生ノ教授ヲ得テ其療法ヲ試ミタルニ大ニ効  
 アリ大正五年度一月開催ノ御大典紀念全國家禽共  
 進會ヲ東京上野竹ノ臺ニ開カレタルニ付キ二点出  
 品シテ二点共優勝一等ヲ得金牌ヲ授與サル外伯爵  
 樺山會頭ヨリ地方獎勵者トシテ米國理學者富田氏  
 ノ名筆書一幅ヲ授與サレタル氏ナリ

内外勸業博覽會共進  
 會名譽金銀賞牌受領

本店ハ元祿四年開業二百有餘年以來品質吟味  
 嚴重風味他品ニ超絶醸造高又唯一也

醬油味噌醸造本場

屋號田中屋



田中太吉

秋田市大町三丁目  
 電話七〇番



秋田市西根小屋町十五番地

國光生命保險相互會社

秋田支部

電話五二二番

模範常設  
活動寫真

秋田市十人衆町

朝日館

電話五四八番

秋田市田中町

劇場

凱旋座

電話一六五番



◎秋田「田澤みやげ」

一箱 拾五錢

田澤湖の印象は、世界一の青い色と底知れぬ水深と清い水との三つですが、神秘めいた辰子姫の古話は希獵のを聴くが如く、又スコットの「湖畔の美人」を聯想されます、此湖中に産する不思議な「キノシリ鱒」と原人時代を偲ばれる獨木舟と、咲き芳ふ湖岸の白百合花など、悉く美しい詩です、即ち名所としての田澤の風光美と國鱒、とを普ねく世間に紹介せんとの微意で、弊店は茲に新葉「田澤みやげ」を提供する事にしました

秋田縣廳前通

秋田露漬元祖

榮

太樓

電話四十五番

桂風

和洋御菓子舗

饅頭  
元祖

中野屋

秋田市龜ノ丁西土手町  
電話四三四番

秋田市鷹匠町

秋山旅館

電話四參八番

置位

當館は千秋公園に近く  
赤十字支部病院に近く  
諸官衙諸學校等に近く  
最も至便の地に在り

旅館 

三浦 夕 工

秋田市大町三丁目

電話一三六番

國産 金銀 美術品

商金光堂

秋田市川端二丁目

竹谷金之助

電話三二〇番

鐵道管理局御定宿

旅館 木村良助

秋田驛前 電話六九番

本館の特色

- 本館は聯隊に接近す
- 本館は千秋公園に近く遊覽に便なり
- 本館は鑛山學校師範學校に最も近き位置に在り

純金銀 製造種目

花瓶、香爐、水差、茶器、銀盃、洋盃、裝身具種々

國産 金銀細工美術品商

秋田市端川三丁目

デシハ七十四番

金賞堂 澁谷金治

各地販賣店

- 札幌區秋田物産館
- 小樽區秋田物産館
- 旭川區秋田物産館
- 釧路港秋田物産館



秋田市大工町

大橋旅館

電話四二一番

砂糖  
粉麥

商



土崎港町下酒田町  
合名  
會社

大橋商店

電話一八番

大日本製糖株式會社  
奧羽代理店



土崎港町下酒田町  
合資  
會社

秋田精糖組合

電話一八番

日本石油株式會社  
製品販賣代理店



土崎港町下酒田町  
合名  
會社

秋田國油商會

各農產品評會に受賞

一馬	耕器	一臺ニ付	壹圓六拾錢ヨリ貳圓マテ
一良	改馬	同	壹圓貳拾錢ヨリ貳圓マテ
一正	條器	同	七拾錢ヨリ壹圓六拾錢マテ
一除	草器	同	參拾錢ヨリ壹圓八拾錢マテ
一手	馬	同	貳拾參錢ヨリ五拾錢マテ
一馬	耕用タラ		參拾五錢ヨリ貳圓五拾錢マテ
一新	式水車		參圓五拾錢ヨリ拾圓マテ
一新	式トミ	六	圓ヨリ八圓マテ
一萬	石通	各	種
一金	網粉通	各	種
一改	色稻コギ	各	種

特約御望ミノ御方ハ御申越アリタシ

秋田縣土崎港相染

改良農具  
改造販賣  
元 卜 館岡富次郎



野口船舶部  
野口回漕部

出張所 兵庫切戸町八一

出張所 船川港金川

電話二五番

國民保健上至大の責任を有する藥業家の立場として

### 藥化一

和漢洋藥種

新時代ノ有効賣藥

工業藥、繪具染料、

洋酒、塗料各種

クラブレート一式

石鹼、香水、香油各種  
齒ブラシ石鹼函洗粉  
外流行化粧品品々

### 化粧品及品式

誠意を以て最新の化粧品を  
提供す江湖の御用命を希ふ



土崎港 相染町西側

越後谷元吉商店

明治十年創業  
土崎旅館ノ元祖

### 旅館



秋田縣土崎港新城町

佐々木キヲ

電話百〇八番

### 御注意

停車場前旅店々々木と同姓なるより時々御客  
様御用事向に御間違等もありませんか弊館とは  
全々無關係で御座いますから新城町佐々木旅  
館なる事に特に御注意御願ひ申上げます

活版石版 銅版寫真版  
コロタイプ 木版 電氣版

士崎港町林町



マルケ印刷所

所主 丸ノ内鐵之助

洋式帳簿 和洋製本  
洋刺臺紙 和洋紙取扱

種各料塗

屋根塗油近頃土瀝青の外種々なる製造品にて塗料とするも變色する爲め皆信用を害しつあり故に弊店にては苦心の結果漸く良好なる製品を中外石油アスファルト鑛業所に於て製造して好評を博し居り候間御使用の御方は先以て見本無代にて差上申すべく候に付き御試みの上御注文下され度願上候以上

奥羽線羽後大久保驛前

渡邊旅館方

取扱所

中嶋福治郎

搬百輸運

明運送株式會社與信部加盟店  
東京三運輸株式會社荷扱店  
日本石油株式會社荷扱店  
株式新潟鐵工場專屬荷扱店  
淺野セメント株式會社荷扱店

奥羽線土崎驛前



金坂運送店

雄物川驛出張所

電話九番電略(ヤマ○)

電話一三四番

御大典紀念飲食品博覽會に於て

一等賞金牌受領

其他各博覽會に於て受賞

八郎湖  
名産 佃煮

秋田縣南秋田郡大久保



吉田水産製造場

場主 吉田傳助

電話(ヨシタ)又ハ(ヨ)

置位

本縣特産土瀝青採掘場を去る僅に一里  
飯田川公園を距る僅に十町の近きに在  
りて八郎湖遊覽に最も便宜なり

南秋田郡大久保驛前

調理新鮮  
宿料低廉



鈴木旅館

館主 鈴木ミヨノ

中外石油アスファルト株式会社荷扱所  
中野興業株式会社荷扱所  
日本石油株式会社荷扱所  
小倉石油店 營業部 荷扱所

羽後國南秋田郡大久保驛前



内國通運株式會社取引店

菅原鶴五郎

大正博覽會受賞、帝國食料品博覽會受賞

御即位紀念博覽會(京都、桃山、名古屋)受賞

羽後南秋田郡大久保

八郎湖佃煮製造元  
名産 海産物肥料  
酒類内外米

商 高橋 駒藏

電話(コマ)又ハ(ヨ)



▲ 聞新誌雜書圖 ▼

式一具房文

詰罐料食酒洋和

町目城五縣田秋

渡 邊 五 松 堂

旅 (工) 館

秋田縣五城目町

永井永樂館

弊館は懇切丁寧に勉強可仕候  
間御投宿の程奉希上候敬白

五城目俱樂部

俱樂部は永樂館の附屬にて建築宏壯又優美なり、  
座敷は多人數を容るるに足るを以て大小の宴會に  
適す「百人を容るる廣間や夏の月」など其俳人の評  
なり、料理は八郎湖の魚類を主とし總て新鮮滋味  
なるを供す

本館

特色

般百輸運

日本遞業株式會社取引店  
三鱗合資會社取引店  
村山運送店取引店  
秋田木材株式會社荷扱所  
海陸運送株式會社荷扱所

與羽船川線羽立驛前

羽立運送合資會社

般百輸運

天龍運輸株式會社  
三鱗合資會社  
東京三立社

取引店

與羽船川線羽立停車場前



船川運輸株式會社

交計加盟店

羽立荷扱所

電略(フ)ニ

和洋 雜貨小間物商

男鹿名勝繪はがき發行所  
各種新聞取次店

羽後國船川港町



橋本賢造商店

木材各種製材販賣

南秋田郡土崎港町



前田製材所

電話三十七番  
電器(マエ)又ハ(マ)

海陸物產  
委託販賣  
各國汽船  
貨物取扱



秋田縣船川港町金川

中川回漕部

各種  
製材



船川製材株式會社

船川電燈株式會社  
船川ドック株式會社

創立事務所

秋田縣船川港町

中川文之助

本館  
特色

△本館は船川湊町役場及び停車場前にて  
諸官衙に至大の便利なり  
△男鹿嶋廻案内の船便の設備及び御辨當  
調達等總ての便宜を取計可申候

昌榮銀行船川代理店  
秋田縣船川港町  
△印刷取扱所

佐藤旅館  
館主 佐藤岩五郎

萬荒物各種

縣内第一の銘酒兩關一手特約販賣店



味 贈 油  
代 理 店  
和洋酒 瓶詰 諸罐詰  
サイター 果物類



秋田縣船川港町  
吉田文七商店  
(屋號菅六)

米國石油販賣代理店

味噌醬油酢釀造元  
銘酒福祿壽大販賣

東洋生命保險株式會社大久保代理店

菅原久之助

秋田縣南秋田郡大久保村

八郎湖  
田佃煮元祖  
名產

秋田縣南秋田郡大久保村  
水產製造所



進藤周太郎

優等  
清酒

澤の鶴

加茂川

特約店

秋田市茶町扇ノ丁

湊商店

秋田特產  
杉板各種  
荷印



材木商  
塚本勘三

秋田縣田能所  
營業部  
製材所  
荷印

電話  
番番番

●●●杉板類各種  
●●●杉板類各種  
●●●杉板類各種  
●●●杉板類各種  
●●●杉板類各種  
●●●杉板類各種  
●●●杉板類各種  
●●●杉板類各種



塚久材木店

電話(〇キウ)又ハ(キウ)

精々勉強直段を以て御下命次第貴需に應じ可申候

○杉板各種製造販賣  
○醬油樽丸木取製造專門  
○大樽製造販賣  
○外樽日本製造販賣  
○四斗樽木取製造專門  
○各國使用壹斗入木取製造販賣  
○白味砂糖樽及味噌樽製造販賣  
○各國使用小羽各種製造所

▲秋田縣林產品評會ニ於テ品質優良ニ付貳等賞與授領シタル事二回▼

秋田縣山本郡能代港町代町四十六番

材木商



瀬川勘五郎

電話(〇セ)又ハ(セ)

秋田縣能代湊町



金野材木店  
金野製材工場

電話 六十四番  
振替 東京二三一五四  
口座

秋田縣二ツ井驛前

金野木炭部

製品精撰

秋田産杉材製品各種  
杉上等柁目板各種  
杉上丸太及雜割各種  
杉、酒、醬油、樽木各種  
北海道産材及製品各種

誠實勤勉

秋田縣能代港町



秩父材木店

電話(チチ) 電話五十六番  
東京振替口座一七六五八番

取引迅速

親切丁寧

秋田縣能代大町(郵便局向)

秩父商店

秋田縣工業一手販賣

講習所製作品  
種 家具 建築 漆器  
目 桶 類 造 花 蔓細工

店本造釀

社會名合玉小

村川田飯縣田秋



發賣社店 玉合會 小名支 秋田支 店

番六六二話電)丁ノ龜中市田秋

會合 社資 時田運送店

奧羽線飯詰驛前

迅速正確

運輸百般



▲現代の秋田と

●大嶋商會の活動▶

帽子は大嶋商會主要商品にて常に時代流行の粋を競ふ紳士の好尚に投じてあり

洋傘は新時代の色彩豊麗に艶美に蛇の目傘は純日本式の特色床かしく何れも戦時の影響を蒙ることなく世人の要求に應じてあり

洋服附屬のホワイトシヤチカラムス等は京都第一流の瀨谷商會が弊會の爲めに特製せるものにて流行の先驅たるべく好評噴々たり

化粧品には隠れたる精良品にして而かも廉價なるもの夥多あり殊にリバー社製のスマル石鹼の如き其一例にて何等戦時の影響を蒙らざるを紳士淑女に警告す眼鏡類 文房具類を始めとして自轉車及び内外雜貨の

新時代式精良品は世人の好尚を充たすべく弊會は常に最善の努力を盡してあり

帽子一式

洋品雜貨



大嶋商會

振替口座東京 壹壹零九七番

秋田市下肴町

電話 七十八番 三六五番

創立明治拾貳年

資本金壹百萬圓

銀行一般ノ業務至極御便利ニ御取扱可申候



株式會社

第四十八銀行

土崎支店

電話四十八番 倉庫電話二十三番

爲換取引先ハ全國貳百八拾餘個所

種各麴種

醬油用	壹石量金拾貳錢
味噌用(黃花)	同
味噌用(白花)	同
酒造用	同

注 意

本種麴は多年鋭意研究の結果特  
殊の細菌を發見せるものなり  
本種麴は學理應用して純粹培養  
す故に製麴極めて容易なり  
本種麴は醬油醱の熟成は速にし  
て色澤香味共に優秀なり  
本種麴を使用したる醱に搾汁量  
多し隨て粕量甚だ減するもの也

秋田市八日町三六番地

醫油釀造業  
味噌製造業

川彦釀造所

日本郵船株式會社代理店  
大坂商船株式會社代理店  
嶋谷汽船部代理店  
丸二汽船合資會社代理店  
日本石油株式會社油槽船取扱

秋田縣土崎港下酒田町

船舶代理  
運送業



共同回漕株式會社

電話(キヨ)一三三番  
電略(キヨ)又ハ(キ)

全國運輸聯合會正會員  
 日本石油株式會社荷扱店  
 寶田石油株式會社荷扱店  
 冷蔵汽船會社荷扱店  
 秋田國油商會荷扱店  
 秋田精糖組合荷扱店  
 三立糖土崎取引店  
 天龍運輸株式會社取引店  
 明治運送株式會社取引店  
 山口合名會社取引店  
 丸和合名會社鐵道部取引店  
 九和合名會社鐵道部取引店  
 合名會社米林運送店取引店

奧羽線土崎驛前

**叶** 金子運送部

同 雄物川驛出張所  
 電話(○カネ)又ハ(○カ)番  
 同 船川港出張所  
 電話二三四番

羽後南秋田郡五城目町停車場前



內國通運株式會社取引店

店主 勝田 淳助

日本遞業株式會社  
 天龍運輸株式會社 取引店

秋田縣五城目停車場前

鐵道貨物  
 運送取扱



三立社

店主 八柳 精吉

商標 種 麵



強勢純糲糖養

學 理 應 用

新醬油菌

醬油釀造研究所

製造 枝師 佐藤時治

發 秋田市新城町十六番地

賣 佐藤商店

元 振替口座東京八〇六番

土木 建築

請負業

秋田市榎山人川橋通登町拾二番地

中 舖 與 市

土木建築設計  
請負業

秋田市下龜ノ丁拾四番地

平野内吉松

銘酒 松正宗釀造元 由利郡松ヶ崎 黄金井 釀造元 河邊郡新屋町  
菊水 釀造元 河邊郡新屋町 本莊 旭桑酒 高橋清兵衛  
英雄 釀造元 森川祐太 名産  
醬油 第二回福嶋醬油品評會に於て  
味噌 釀造元 優等賞金牌受領 齊藤久助 由利郡本莊町

秋田市十人衆町

特約店



齊藤太市

◀ 東北唯一の洋服店 ▶

▲ 高等洋服 ▼

諸物價暴騰せるも高等服地は割安にて新調にあり  
 元三井呉服店主任越元三井呉服店主任越元  
 東都洋服部一任にて裁縫師平川桂藏氏招聘  
 縫工三名同伴  
 スタイルの着心柄  
 合御試めしの上名實相背かざるを確認下  
 主人毎月上京流行視察ロンドンスタイル  
 雑誌取寄参考し商賣  
 以外斯界の發達を期す

地質強韌	裁縫精巧	柄合多種	型式新機	調達低廉
------	------	------	------	------

▲ 品質本位 ▼

町長手土市田秋

新田目洋服店

新田目周平

(番五七一)話電

羽後土崎港町上酒田町(馬車會社向)

本港唯一  
最大旅館



佐清旅館

電話一〇一  
番

鐵道院指定

秋田縣土崎港上酒田町

丁 山 内 旅 館

電話五十一番  
電略(一ラウ)又ハ(二)

諸材製板販賣  
建築材料一式

三 館 山 製 材 所

秋田縣土崎港町御藏町

土木  
建築  
請負業

秋田市西根小屋町

相澤重吉

電話七〇七番

石版印刷  
土崎印刷所  
土崎港清水町

最優美高尚の調進致候  
表装は時運の進歩に伴ふ

水明堂 大野内藏助

表具所  
秋田市中亀之丁上町



各種  
鐵道耕地整理用排水七管  
煉瓦屋根瓦製造販賣業

秋田市檜山愛宕下

屋號 牛嶋養座

渡部製陶工場

土木建築工事請負業  
建築設計並に圖案の  
依頼に應ず

南秋田郡廣山田村檜山字檜山四七番地

金久合資會社

代表社員 中山久之助

取扱項目

土木建築工事の設計  
開墾調査及水理調査  
測量製圖工事監督  
耕地整理事務及計劃

斯界の進運に鑑み弊舎は前記の項目に付き確  
實迅速に一般の需めに應ず

秋田市十人衆町二十番地

秋田測量舎

技術員 村木善作  
外數名

秋田市十人衆町二十番地

請負業 豊卷竹松

旅館



秋田市長町

石橋達摩館

電話四十番

吳達合資會社

秋田市大町二丁目

吳服部  
洋服部

電話七十七番

運百般



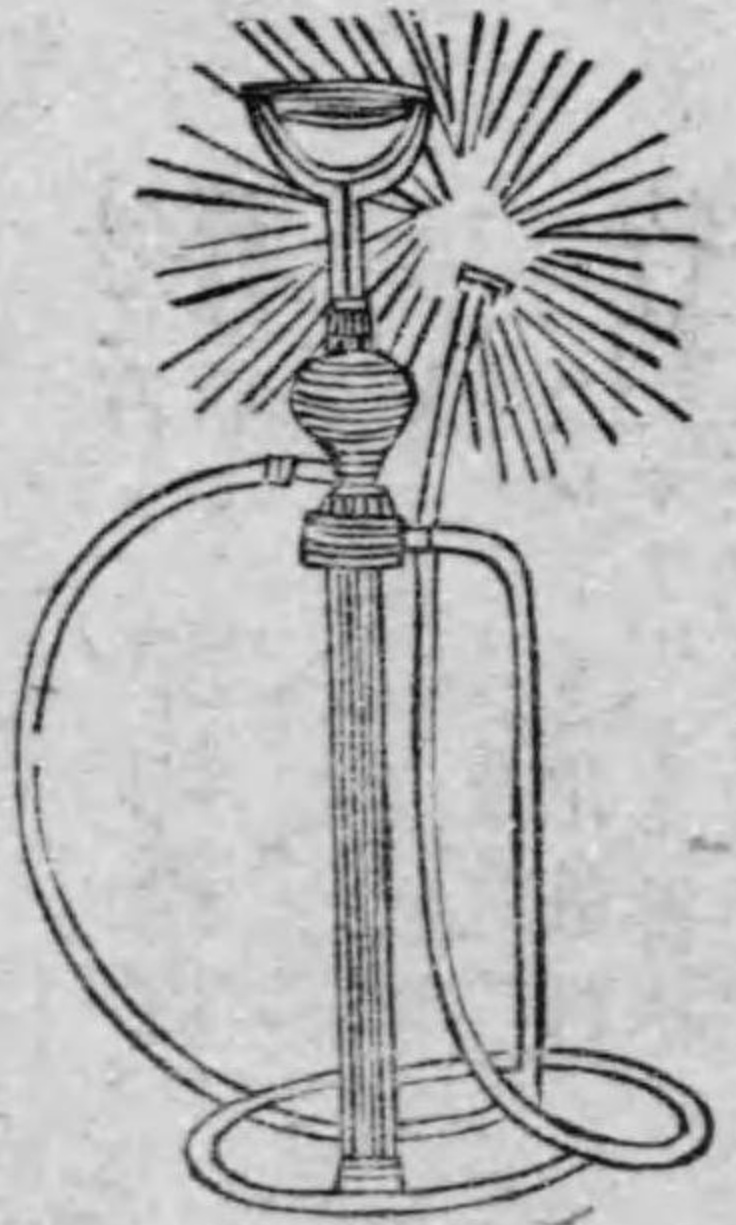
仙北運送店

秋田縣大曲驛前

店主 高橋捨吉

電話七十一番

◎特製阿武隈川作世界一代價大貳圓  
五拾錢中貳圓小壹圓七拾錢送料不用  
並物參拾錢下り



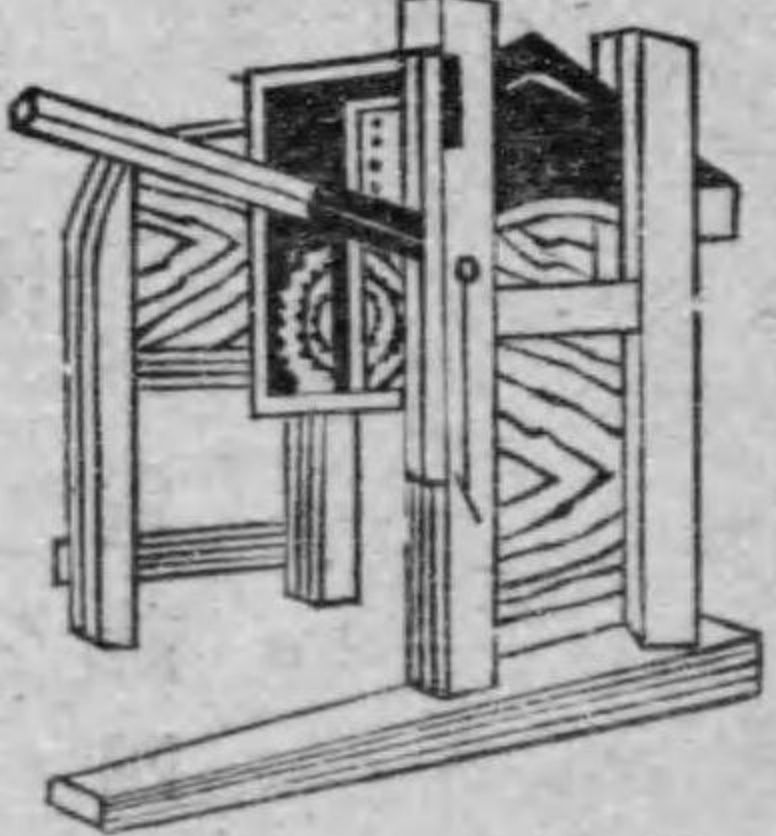
◎本機は農事試験場より優證を下附  
せられたるものにして堅牢輕快無比  
牛田特命製ゴム六尺附價八圓五拾錢  
荷造送料五拾錢今回賣廣めの爲め金  
五圓以上御注文者に金ペン附萬年筆  
價壹圓也を無代進呈す

秋田縣大曲町

替東二〇六番  
電 略

武藤長次郎

牛馬糧細切機



代價金五圓也  
運賃着拂

在來の押切は仕事之余り遅く西洋  
の機械は余り大掛で高價何れも  
現時の農家に摘せず本機は進歩せ  
る日本農家に最も適切の工夫にし  
て行程西洋の大機械に劣らず在來  
の押切を本機に替ふる時は  
一ヶ年人夫二百五十人を  
省く事を得本機に類似せるもの  
澤山あれど使用輕く永年修理を要  
せざるものは本機也特約店を募る  
秋田縣大曲町 武藤農具店

創立古く  
經營新し  
洋物雜貨

秋田縣大曲町

榊田

本店

電話三六番

特約  
オリト化粧料  
オリヂナル香水  
三ツ矢コロナ

榊田

分店  
電話四四番

銘酒

商標

日の出山

羽後仙北高梨

醸造元 後宇醸造所

秋田市長町



小林

旅館

電話十五番

ルオタ  
製 造 販 賣

- △日用として最も徳用品
- △四季贈答品として好適品
- △御好みに依り優美なる箱入調進
- △御印入御注文に應ず

秋田縣大曲町

製造 發賣 元 福田 幸太郎

◎特約販賣御希望の方には格段に御相談可申上候

鐵道院御指定

秋田縣大曲町

梧鳳館

西村旅館

電話六十一番

西村家傳ぢ病の藥和泉散

三分 冊五錢  
は 七分 冊七錢  
七十分 冊十錢

痔瘻。痔核。脱肛。裂痔。痔出血。がつちやきに限りなをります

羽後大曲町

家傳本舖 十六世

謹製 西村喜惣兵衛

振替口座東京一五二九八

膳 御

きそば

秋田市南鐵砲町

若葉

電話五六三番

秋田市川端三目丁

支店

◎丸子川の清流に秋少橋望景◎

秋田縣大曲町

御旅館 枕流館

電話三十一番

◎秋田縣大曲町には旅館の設備あり◎

◎丸子川の清流に枕み眺望佳絶◎

御旅館

秋田縣大曲町

枕流館

電話三十一番

◎停車場前には支店の設備あり◎

御膳

きそば

秋田市南鐵砲町

若葉

電話五六三番

秋田市川端三日丁

支店

見

秋田杉各種

深井材木店

材木商石深井製材所

秋田縣能代町材木町  
電話二七七番  
電略〇イシ又ハ(フ)

落

勿

れ

大正五年四月二十五日印刷  
大正五年五月十日發行

定價六拾錢

秋田市保戸野表諏訪町十一番地

編輯兼發行人 堀井汀水

秋田市茶町梅ノ丁二十一番地

印刷人 那波宗七

秋田市茶町梅ノ丁二十一番地

印刷所 那波合資會社 秋津活版印刷所

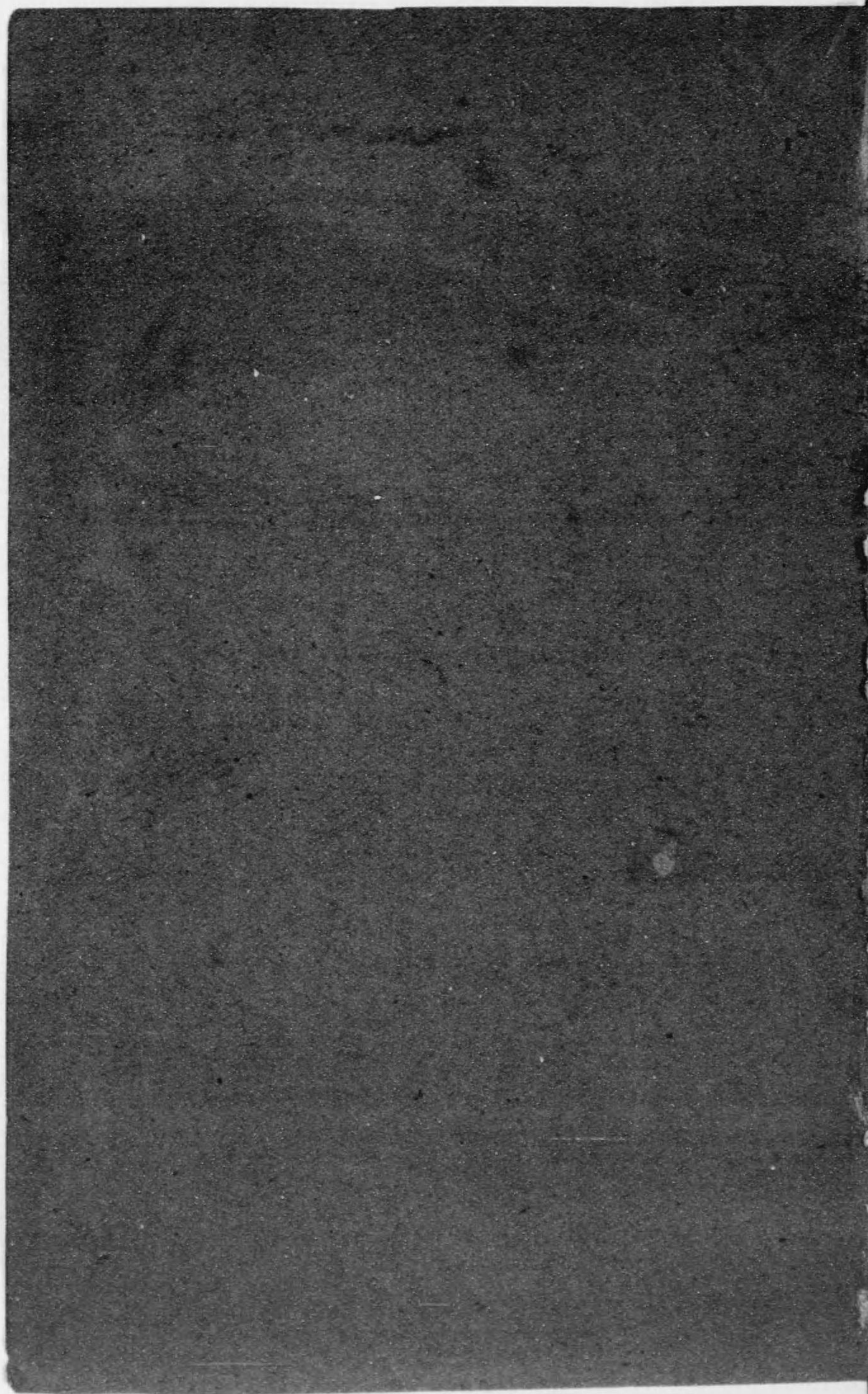
不許複製

秋田市保戸野表諏訪町十一番地

發行所

秋田民報社





25

339  
701

終

